

# 「太宰治自筆ノート 修身」

翻 刻

## 凡 例

1. 資料本文の頁数を翻刻の先頭（ ）内に示した。
2. 資料本文以外の情報となる肖像画などについては（ ）の中に肖像画の位置や書き込みについて示した。
3. 判読できなかった文字については、その文字数分を□（白シカク）にした。
4. 資料本文の抹消部分については、抹消された文字の下側に「ッ」を付けた。
5. 資料本文の訂正箇所については、抹消された文字の下側に「ッ」を付け、上側に訂正の字句を示した。訂正の字句はポイントを下げた。
6. 頁の破損により判読不可能な文字などは■（黒シカク）にした。
7. ノートの中に描かれたイラストは、この度の翻刻に際しては割愛したが、今後、附属図書館として、デジタルアーカイブにアップすることを予定している。



## (表紙)

修身

修身

宮城教授

宮城教授

宮城教授

弘高

文三一

津島修治

(表紙上部には、「□□」「N o t e B o o k」とあり)

(表紙上部縦書きで「此の此の」とあり)

(表紙右側に縦書きで「辻島衆二 辻島衆二 辻島衆二 辻島衆二 辻島衆二 辻島衆二」とあり)

(表紙左側に縦書きで「辻島」「辻島衆二」とあり)

(表紙左側に「宮城」「教授」「宮城」とあり)

(表紙中央部から下部には「N o t e B o o k」とあり)

(表紙右下隅には「醜」とあり)

## (表紙裏)

(頁中央と左下に肖像画あり)

## (1)

吾人ノ国家感觀

及ビ吾国体

吾人ハ国民道德ヲ研究スルニ当ツテ根本的ニ  
決結定スベキモノハ国家感デアル吾日本ノ国民道  
徳ヲ研究スルニアタツテ先ヅ了解スベキハ吾国体如  
何デアル。古来学者ノ研究ニ依ツテ種々ノ国体家  
感ガ成立シテルガ今日一瞭ニ解釈セラ  
レテル所ニヨルト国家ノ一定ノ人ト一定ノ  
土地トソレヲ統治スル主權トヲ要ス  
ル團體デアルトセラレテ居ル。コノ一定ノ  
人ハ即チ国民デアリ、一定ノ土地ハ即チ  
領土ナリ。主權トハ国家ヲ統治スルカデアル。  
国家ガ国家自身ヲ支配スル意□志ノ力ナリ。  
主權ハ国家固有ノ力デアツテ国家ノ外ニ  
存スルモノデハナイ 国家ハ自己ノ力ニヨル他  
何物ニモ支配セラルルヲユルサヌ。ソレデ  
主權ハ自主デアリ獨立デアリ最高デアル。  
コノ一般的常識的国家感ニ吾人モ

賛同スルモノダガ併シコレダケデハ  
国家ナルモノノ意義ハ充分明ラカニ  
セラレナイモノダ、吾人ハ今コノ国家感  
一層明ラカニセン爲ニココニ近世ドイツ  
(頁下部には、「Note Book Book、 Book」とあり)

## (2)

流ノ国家感ト英国感ノ国家感トヲ比較研究  
シテ見ヤウト思フ、ドイツ流ノ国家感ハH e g e l  
ヲ持ツテソノ代表者ト見ナサルルモノ  
ニシテH e g e lニアツテ◎K a n tニ於ケル  
認<sub>レ</sub>識論上ノ原理トシテ決定セラ  
レタル超越<sub>レ</sub>□ノ思想ハ宇宙的絶対  
精神ニ迄高揚セラレ超越ハ形而上学的  
実体トシテ不変的宇宙的ナル实在ヲ性<sub>ヲ</sub>  
有スルモノトナル□ニ至ツタノダ。  
ココニ於イテK a n tニアツテハ個人主義的ナ  
ナリシ国家論<sub>源</sub>  
統治国デアツ□ハ超越ノ発現トシテ  
超越ソノモノト同一』セラレル所謂文化  
国家ト変化スルニ至ツタノダ。一方  
英国ニ於イテハJ. L o c kニ始ツテ功利主  
義者のJ. B e n t h a m J. S. M i l l  
等ヲ経テH. S p e n s e rニナツテ国家ヲバ  
J o i n t - S t o r k p r o t e c t i o n s o c i e t yトナス  
保護合同組合  
一理獨特ナ国家觀ヲ設定スルニ至ツタノダ。  
ソシテコノニツノ国家觀ハ世界大戰當時をヲ  
今日ニタル迄ニ大大陸国家思想トシテ  
持  
相對□スル所デアル。吾人ハ今コノ  
ニツノ国家感ヲ研究批評シテ吾人自身

## (3)

ノ国家感ヲ設定スルモノナリ。今吾人ハ  
コノ比較対照ノ外ニ一方ニアツテハ  
今日純H e g e l i a n tト見ナサルルB s a n q u e t  
氏ノ“T h e p h i l o s o p h i c a l T h e o r y o f t h e  
S t a t e”ニ依リ一方ニ於イテハH. S p e n s e r  
氏ノ“S o c i a l s S t a t i c s”ニ思フ者ナリ。

B a s a u q u e t氏ノ国家感ハ獨特ナル我ノ見方ニ  
基礎ヲ持ツモノダ。即チ□吾人ガ日常  
ケイケン意識セルコノ現実ノ我以上ニ更ニ  
理想我又ハ眞実我トモイフベキ我がアル。  
コノ越ガ即チ国家也トスルノハコノ国家  
感ノ基礎トナツテル。彼ニヨレバ吾人  
ノ眞□a c t u a l   w i l lニ対シテR e a l   w i l l  
ガ存在シソノR e a l   w i l lハw i l l i t s e l y  
ニシテ吾人ノ眞ノ利益ヲ目的トセル  
意志ニホカナラズ、カクノ如キR e a l   w i l l  
ハ国家ノ意志ニ他ナラヌモノデアルトスルモノダ  
如何ニシテR e a l   w i l lガ国家ノ意志ニ  
他ナラヌモノデアルカヲ彼ハ心理的説明ヲ  
借り来ツテ説明シテ居ルノデアル。會ニハ  
或ル特有ナル目的計画ニシタガツテ  
組織セラレタル團體ト、目的モナクノ t h a n

#### (4)

モナキ無組織ノ群トガアリ、ソノ人ノ心ニハ  
アル特有權ナル立場ヨリ系統的組織セラレタ  
ル感念群ト何等ノソシキナキ統一ナキ  
感念群トノ両者ガアル。會ニ於ケル  
ソシキ体ヲ特種的組織團體ト呼ビ  
心内ノ組織的感念群ト統覺的  
組シキ團體ト呼ベバ會ニハ多数ノ特種的国ソシキ  
團體アルト同ジク（心内ニハ）多数ノコノ統覺  
的觀念がソンザイシテルトイハレル。  
心内□ニ於ルーツノ統覺的觀念群ガ  
アル特種ナル立場ト見方ヨリシテ  
s y s t e m a t i cニ統一組織セラレテアルト  
同様ニ會ノ特種的ソシキ團體ガ  
多人数が特種ノ臬ヨリソシキ□統合セラレ  
ツツアルモノニ他ナラヌモノ也。  
コノ關係全然同一デアツテ個人ノ心中  
換言スレバ肉体ノハンキ内ニトバマルトソレ以上ノ  
ハンキ□ニワタルトソノ間何等ノ本質的ノ  
區別アルベカラザルモノダ、故ニ統覺的  
カンネン群ハ心内ノ特シユのソシキ体  
ニシテ會ノ特シユ的ソシキ團體ハ

大ナル精神内ノ統カクのカンネン群ナリ

(5)

言ヒ得ル。ソシテ人ノ心全体ハ多数特種のソシキ  
團體ニソウトウスル所ノ無数ノ統カクの觀念群  
ヲ更ニ包カツのニ統ボウ組織シテ不變的  
一系統トシテノ統一體ヲ現出シツツアルノデアル。  
國家ハ又コレト同ジク無数ノ統カクの□方群  
ニソウトウスル多数特種のソシキ國體ヲ更ニ  
包カツのニ組シキ統合シテ不變的一系統ト  
シテノ統一體ヲ現出シツツアル全体  
會デアル。シカラバ人ノ心ガ多数特種の  
ソシキ團體ノ統一のソシキナルト同ジク  
國家ハ大ナル精神トシテノ多数統カクの觀  
念群ノ統一のソシキデアル。即チ國家ハ  
縮小スレバ個人ノ心トナリ個人ノ心ハコレヲ  
拡大スレバ國家トナル。國家ハ實ニ個人ノ

普<sub>レ</sub>遍

拡大シタルモノデアツテ不變我大我トモ  
稱シウベキ實在ナリ。個人ノ實在タル以上ニ  
實在ニシテ個人ノ現實ノ心ガ一方ニ編シ  
易ク不完全ナルニ對シテ國家ハ最モ完全ニ  
外部ニ展開シタル個人ノ心ニシテ國家ハ  
個人ノ眞意志ノ體現ニ他ナラヌモノ也。  
ヨツテ國家個人ハ現實ノ意志ノ他ニ  
ハ眞意志ヲ有シコノ r e a l l w i l l、即チ

(6)

國家ノ g e n e r a l w i l lニ他ナラヌモノ也。

以上ノ如クニシテ我ハ普<sub>レ</sub>遍的實体的  
存在トナル我ハ即チ國家ニシテ絶對的  
自由的ノモノトナル。カクテ個人ノ自由ハイカニ  
解セラレルノデアルカ。トイフニ個人ハ a c t u a l w i l l  
以上ニ□□理想我トモ稱スベキ r e a l l w i l l  
ヲ有スルノダ。シカラバコノ r e a l l w i l lニ  
服從シコレヲ實現スルコトハ個人ノ道德的  
同士ノ唯一ノ道ダ。コノ r e a l l w i l lニ  
服從スルカ爲ニハ例ヘ□現實意志ヲアゲ  
コレヲ壓服スルトモ自己向上ノ爲ニハ  
必ズナサネバナラヌコトガラ也。ソレテ



国家ノ普<sub>レ</sub>遍意志ハ眞意志也。故ニ  
国家ノ統<sub>レ</sub>□リニ服從スルコトハ個人ノ眞ヲ  
爲シ大ヲ爲シ道德的ニ向上スル所以  
デアツテコレヲ他ニシテハ道德ナルモノハ  
存在シナイ□ノダ。ココニ服從ノ義務  
ノ深キ道德的意義ガ存在スルノデアル。  
自由トハ放<sub>レ</sub>□我儘ノ意志デハシ現實意志  
主張ノ意味デモナイ。放<sub>レ</sub>□我儘現實  
意志主張ハ自由ノ如ク見<sub>レ</sub>□ユルガ

### (7)

コレニ依リテ得タル自由ハ眞我ノ自由デハ  
ナクシテ返ツテコノ自由ノ爲ニ眞ノ我ハ  
ヨク圧セラレツツアルノデアル。眞ノ我ノ  
□自由ナランガ爲ニハ我儘ホーシ現實  
意志ヲヨク圧矯正シテ眞意志ヲ實現□  
シナケレバナラス。眞意志ノ實現ニ於イテノミ  
□眞ノ我ノ實現ハアル眞ノ自由ハ存スルノダ。  
ソシテ眞意志ハ国家意志ニ他ナラザルモノナルガ  
故ニ国家意志ニ統制ニ服從スルコトハ  
即チ眞ノ自由デアツテコノ他ニ眞自由ナルモノハ  
存シナイノデアル。即チ国家ガ法ニ依<sub>レ</sub>□ニ  
強制スル所即チ自由ノ道デアツテ強制法則  
即自由デアル。コレコノ学派ノ自由論ナリ。  
コノ派ノ理論ハ以上ノ如クデアルガ故ニ  
国家ハ他ノスベテノ特殊の団体ヲ自己ノ  
ウチニソノ一部分トシテ抱擁スル所ノ完全  
ナル全体』會デアツテ他ノスベテ』會ハ  
国家内ニ於イテソノ部分トシテノミ存在成  
立シ得ルモノニ過ギヌトイフコトトナルノデアル。  
カクテ国家及ビ法律ノ倫理的意義  
ナルモノガ向上セラレテ国家及ビ法律ニ  
服從スルコトニ依ツテ個人ハ道德的向上  
(頁中央には朱書きで「~~四十一、五~~」とあり)

### (8)

トヲ□全フスルモノナルガ故ニ国家及ビ法律ハ個人向上  
ノ道シルベ□ノ用ヲナシ国家及ビ法律ハ  
道德觀念ノ□具体化シタモノ即チ道德ソノ  
モノデアルトシテ居ル。



次ニSocial Staticsニ表<sup>アラ</sup>ハレタSpencer氏ノ国家論ノ概要ヲ述ベン。

人類ハ幸福ヲ享受<sup>キヨク</sup>スベキ作ラレ幸福ヲ樂シム  
コトハイハバ神ノ命ニシテ人類ガコノ  
幸福ヲ享受スルガ爲ニハ人類ハ自己ノ  
能力□ヲ發揮シ活動セシムル必要ガ  
アル。人類ガ幸福ヲ享受スルコトガ  
神ノ命デアツテ幸福ヲ享受スルガ爲ニハ  
能力ヲ發揮スルヲ要スルトセバ能力ヲ  
發揮スルコトハ又神ノ意志ニシテ人類ノ  
義務也ト言ハネバナラス。シカシ能力ヲ  
發揮センガ爲ニハ必ズ行爲ノ自由ガ  
ナケレバナラス或ル程度迄ノ行爲  
自由ガ與ヘラレナイデハ人類ハ自己ノ  
能力ヲ發揮スルコトハ出来ヌノdeal。  
故ニ人類ガ行爲ノ自由ヲ要求スルコトハ  
神ノ意志deal人類ハ行爲ノ自由ヲ  
要求スル權利□アルナリ、併シ人類ハ  
(頁下部には朱書きで「D 1、5」とあり)

## (9)

一人ガ行爲ノ自由ヲ要求スル<sup>ケ</sup>ンリアルト共ニ  
他人モ又<sup>同上</sup>アルモノニシテ  
一人ノ<sup>同上</sup>ニ依□テ他人ノ行爲ノ自由ヲ  
侵害シテハイケナイ。人類ハ爲ニ他人ヲ侵害  
セザル範囲内ニオイテノ<sup>ミ</sup>行爲ノ自由ヲ有シ  
行爲ノ自由ニ対スル各自ノ權ハ平  
等dealコレ実ニ<sup>Ⅱ</sup>會構成ノ<sup>□</sup>第一  
原理デアツテ證明以前ニアル公□理  
トモ稱スベキモノdeal。コノ原理ヨリ  
人類ノ種々ノ權利ハ演釋セラレルノdeal。  
曰ク 生命身体ノ權利、土地使用ノ  
權利、所有ノ權利、思想ノ權利、名譽保持  
ノ權利、交易ノ權利、辨論ノ權利等コレ也。  
カクノ如キ第一原理ニ依ル權利ハコレヲ<sup>天賦人權</sup>或ハ  
<sup>自然權</sup>ト稱シ得ベキモノ也。ソレテコノ第一原理ハ  
人生ノ根本原理dealカラスベテⅡ會構成ノ  
基礎タリ原則タルベキ行爲□理デアツタ。  
コレアツテ後ニ<sup>Ⅲ</sup>會アルモノニシテ<sup>Ⅳ</sup>會  
アツテ後ニコノ公理アルモノデ□ナイノデ

アル。『會ハ日々ニ変化シ又時ニハ崩壊  
スルコトモアルデアロウ、ガ併シコノ公理ハ  
決シテ変化モセズ又崩壊モシナイモノデアル。  
そしてソシテ国家ハコノ人類ノ第一原理

### (10)

ニ基ク自然嫌□權利ヲ保ゴスル爲ニ外部ヨリ  
人類ノ他ノ集團ガコレヲ侵害セントスル  
時ニハ防禦トイフ形式ニ依ツテ又  
内部ニ於イテ個人ガコレヲ侵害セントスル  
時ニハケイサツトイフ形式ニ依ツテ

内外兩方面ノ侵害ニ対シテ保ゴスル  
目的ヲ以テ各個人ガ自由意志ニ  
依ツテ結合組織セル組合ニ他  
ナラヌモノデアル。即チ国民相互  
保ゴノ株式會社ニ他ナラヌモノデ  
アツテ国民ハコノ防禦ヲ必要ト感ズ  
ル限リコレニ対シテソノ代償トシテ  
□租税ヲ支拂フモノデアル。租税ヲ  
支拂フコトハコノ組織ヲ利用シ  
コレヲシヤウ認スル證據ト見ルコトヲ得。  
シカシ若シコノ組合ガ脱退セント欲スル  
ナラバ何時ニテモ脱退スルコトガ出来ル  
ノデアル。即チ国家ヲ無スル權利

何人ニモ存在スルガ故ニ強制觀  
加入ノモノデハナイノデアル。  
以上ノ如クデアルカラ国家ハ

### (11)

個人ガ委任シタルハンキ内ニ於イテノ□ミ  
活動スル職務ヲ有シ義務ヲ有スルモノデアル  
国家ガソレ以外ノコトヲナスハ個人ノ  
委任ニソムキ個人ノ支拂フタル租税ヲ  
不当ニ使用スルモノデアツテ個人ノ權利ノ  
侵□害トナリ背□人行爲トナルモノナリ  
以上ハS p e n c e r氏ノ国家本質論ノ  
大要デアルガカクノ如キ見地ヨリスルトキハ  
国家ハ決シテ□自目的デハナク他目的  
トシテ個人ノ發達ト幸福ノ手段トシテノミ

ソノ存在ノ意義ヲ有スルコトニナルノdeal。  
自由トイフコトニ對シテハ國家ガ一定有限ノ  
目的ヲノミ有スル組合dealカラコノ目的ノ  
ハンキ内ニ於イテハ個人ヲコーソクスル  
コトガ出来ルガ個人ハ元來ソノ人格ノ  
全部ガソノ組合ニ關係シ組合ニ  
□□吸収セラルルモノデハナイカラ個人ニハ  
コノ組合ノ一員タル他人間トシテノ  
他ノ方面ガルノdeal。コノ人間トシテ  
ノ他ノ方面ニ於イテ個人ハ國家ノコーソク  
以外ニ立チ自由行動ノハンキヲ有スル  
ノダ。以上ノ如ク解スル時ニハ

### (12)

國家ハ決シテ全体<sup>ニ</sup>會デハナイ。タゞ多数ノ  
個人ガ集合シテ作り出ダシタ所ノ特種組合  
デアツテ他ノ特種組合ハ何等異ナル所  
ナク決シテ他ノ 同上 ヲ自己ノ一部トシテ  
ソノ中ニホーヨースル全体<sup>ニ</sup>會デハ  
ナイノdeal。カクテコノ立場ヨリスル時ハ  
國家及ビ法律ハ元來ナイ事ガ理想デ  
アルガ全然ナイ時ニハ人種ノ不完全  
制ヨリ互ニ各自ノ平等ナル權利ヲ侵害  
シテ<sup>ニ</sup>會チツ序ガ秩序ガイデ出来ヌ  
カハヤムナク國家及ビ法律ヲモウケテ  
コレヲ強制シテ保ゴスルコトヲ得ルモノデ  
アツテ國家及ビ法律ハ人類ノ不完全性  
ヨリ生ズル已ムヲ得ザルモノニシテN e c e s s a r y  
e v e l<sup>ニ</sup>ニ他ナ□ラヌモノ也。  
以上吾人ハコノ兩國家觀ヲ概説シタノ  
ダガコノ二派ハ實ニ國家觀ニ於テハ  
兩對立兩極端ヲ表ハスモノデアツテ  
吾人ノ見ル所ハコノ兩者ト□共ニ見ヲ  
異ニスルモノ也、先ヅゴザケケツト氏ハ  
國家ハ個人ヲ拡大シタルモノナル

### (13)

コトヲ主張シナガラ不完全ナル個人ヨリ  
イカニシテ完全無缺ナル國家ヲ導ビイダス  
ノdealカ大ニ（個人ニハ現實我ノ他ニ

□眞我ガアルト見ル時ハ何故ニ  
国家ニモ actual willノ他ニ  
real willガ存スルモノデアルト  
見ナイノデアルカ、個人ノ actual will<sup>ゲンジツ</sup>  
ガ不完全ナルモノデアレバ国家ノ actual  
willモ亦不完全ナルモノデアル筈ナル  
吾人ガ国家ガ全体會ナ□リトノ  
説ハ或ル意味カラ首肯スルモノナルガ  
コレガ完全無缺ニシテ最高道德的ヲ表ハス  
コレニ服従スルコトニ於イテノミ吾人ノ理想  
生活ヲナシ得ルトノ説ハ如何ニシテモ  
首肯出来ヌ。吾人ノ見ルトコロデハ個人ハ  
宗教上學問上ゲイ術上又道德上  
□ニ於イテ理想ヲ有シ又有スベキデ  
アルト共一国家モソレ等□ノ理想ヲ有シ  
又有スベキモノデアル国家ハ個人ト  
共ニアリ迄モ不完全ナルモノデアツテ  
コレニ完全ニスルノガ国家ソノモノノ

#### (14)

理想デアルト思ハレル。吾人ガヒトタビ  
眼ヲ現實ニ□轉ズレバ現實ノ国家ハ  
イカニスルモ完全ナルモノトハ言ヒガタイ  
モノデアル。ソレハ国家ガ不完全ナル  
個人ノ構成ニ依ツテ当然ノ事柄デ  
アルト思ハレル。コレヲバ眞善美ノ  
理想對体ナルガ如ク見ルハ実ニコツケイ  
ニ屬スル見解ニゾクスル。  
吾人ハ又国家株式會説ヲ見ルトキ  
タバチニコレヲ首肯スルコトハ出来ナイノデアル。  
成ル程コノ説ニヨレバ現在ノ不完全ナル  
国家ヲ説明シ易ク又進歩セル會ノ  
現實ノ状態ヲモ説明シ得ルガ如クデ  
アルガコノ説ハ国家ヲ單ナル政治組  
合デト見ルモノデアツテ吾人ノ国家觀  
ハコレニ依ツテハ満足シ得ザルモノナリ。  
吾人ハ自由契約ニ依ツテ国家加入シタル  
一員デアルトハ考ヘナイ。又自由ニコレヨリ  
脱退シ得ル單ナル組合トハ感じ得ナイノ  
デアル。吾人ノ見地ヨリスル時ハ

国家ハアク迄基本<sup>レ</sup>會<sup>ニ</sup>デア<sup>ル</sup>。

(頁上部に朱書きで「~~ト~~」とある)

### (15)

派  
コノ<sup>レ</sup>人々ニ依<sup>ル</sup>バ国家ハ自目的デ  
非ズシテ他目的デア<sup>ル</sup>。国家ハタバ個人ノ  
発展ト幸福トノ手段トシテノミ存在シ得ル  
モノトスルノデア<sup>ル</sup>。国家ヲ基本<sup>ニ</sup> 會ナリト  
見ナス吾人ハ何人故カク国家ト個人トヲ  
解離スベキカヲ知ラス個人ノ発展ト幸福  
トイツモソノ発展幸福ハ自然ノ中ニタバ一個ノ人間ト  
シテ存立シ得ルモノデア<sup>ル</sup>カドウカ人格ナル  
モノハ<sup>レ</sup> 會的ナルモノニシテ<sup>レ</sup> 會的ニシテ  
始メテ倫理のタルヲ得。ソシテ<sup>レ</sup> 會的  
倫理のデア<sup>ル</sup>コトガ人格ノ貴ムベキ  
本質デア<sup>ツ</sup>テ<sup>レ</sup>會ニゾクセザル個人ノ  
自由発展トイフベキモノモヲ吾人ハ  
考ヘルコトガ出来ナイノデア<sup>ル</sup>。非<sup>レ</sup>會的トハ  
非倫理のナルコトニシテカクノ如キ  
自由カクノ如キ幸福ハ吾人ノ人間ト  
シテノ自由幸福デハナイノデア<sup>ル</sup>。  
故ニ吾人ハ個人ノ目的ハ又<sup>レ</sup>會ノ  
目的デア<sup>リ</sup>、国家ノ目的デア<sup>リ</sup>、又アル  
ベキモノデア<sup>ル</sup>ト考ヘルノデア<sup>ル</sup>  
コノ意味ニ於イテ吾人ハ個人ガ目的耳目自目的  
ナルモノデア<sup>ル</sup>ト共ニ<sup>レ</sup>国家モ亦自目的デア<sup>ル</sup>コトヲ信ズ  
カカル意味ニ於イテ吾人ハ始メニ国家主權

### (16)

ハ自主デア<sup>ル</sup>独立デア<sup>リ</sup>最高デア<sup>ル</sup>トイフ通説ニ  
賛同シタモノ也。コレハ人格ガ独立デア<sup>リ</sup>  
自主デア<sup>リ</sup>他ノ手段タルベキモノデハナイトイフ  
ノト同ジ意味ノモノ也。タバモシ独立最高  
ナリトノ意味ガ国家ソノモノガ眞善美<sup>ノ</sup>ノ理  
想体デア<sup>ツ</sup>テ学問道德ゲイ術ノ  
最高表現デア<sup>ル</sup>ト言フ如キハ前ニモ  
述ベシ如クニコツケイノ<sup>レ</sup>主張トヨリ  
感ゼラレナイノダ。吾国ノ傳統的  
国家觀ヤ教育専門語ニ表ハレタ国家

觀モカクノ□国家觀モカクノ如キ国家

至上主義デハナイノデアル。S p e r c e r<sup>n</sup>氏  
等ノ国家ハ政治組合ナリトノ国家觀、  
旧来英国流ノ考ヘ方デアツテコノ他派  
ノ人々ノ考ヘニ依レバ国家ノ上ニ  
全体Ⅱ 會ナルモノガ別存在スルノ  
デアル。ソシテ吾人ノ考フル国家ト  
個人トノ關係ハコノ全体Ⅱ 會ト  
個人トノ關係ニ適用セラレルノデ  
アルガ吾人ノ見解ヲ以テスレバ  
コノ派ノ所謂国家ハ吾人ノ考ヘル  
議會及ビ政府ノ一組織ニ異ナラス  
(頁中央下に、朱書きで「D 2」とあり)

### (17)

モノナリ。吾人ノ見解ヲ以テスレバ

コレハ<sup>処</sup>ハーツノ政治組合□ヲサマタゲ  
ナイノデアル。議會及政府ハ自然存在ノ  
一ツノ基本Ⅱ 會国家トナヅケラルル  
共同目的ヲ有スル一基本Ⅱ 會ノ一機關  
ニスギナイノデアル。国家ソノモノハ  
一ツノ統合ノ使命ヲ有スル基本Ⅱ 會デ  
アリ亦カクナラネバナラスト信ズル。  
吾人ノ言フ基本Ⅱ 會ナルモノハ單ナル  
a s s o c i a t i o nデハナイ又g e s e l s a f t  
(s o c i e t y)デハナイ。コノ言葉ハg e m e i m s h a f t  
(c o m m u n i t y)(基本Ⅱ 會、共同Ⅱ 會)ト名ヅケル  
ノガ至当ナリ。故ニソⅡ 會關係ハ  
s t a u d i n g e rノ言フガ如クニ人々ガ  
同一ノ目的關心ニヨツテ支配セラレ  
ソノ共同ノ目的ニ向ツテ本能的ニ  
或ハ意識的ニ自由ナル活動ニ於イテ  
協働スル時ニノミ成立スルモノデ  
アル。目的ノ同一目的ニ対スル協働ノ  
關心ソレニ対スル努力ノ自發性ソノ  
成員ノ權利ノ平同ソノ目的ニ対スル  
協働コレガ共同會ノ大切ナルモノナリ。

## (18)

ソウシテソノ共同目的トハ国家ソノモノ  
ノ目的デアリソレハ国民ノケイザイ生活ノ  
安定ト文化ノ発展トデアル。  
コレハ決シテ單ナル利益ヲ目的  
デハナイ国民相互ガ單ニ自己ノ  
利益アルヒハ幸福ノ手段トシテ結合  
シテルモノデハナイノダ。カク考フルコト  
ハ吾人ノ心ヲ満足セシムルモノデハ  
ナイノデアル。又ソノ共同ニ會ニアツテ  
ハ国家ト個人トノ關係ハ單ナル  
支配ノ關係即チ強力強制ノ  
關係デハナク統制ノ關係デアリ  
ソシテ国民ハ盲從スルコトデハナク  
規律ニ從フコトデアル今眼ヲ  
現実ニ轉ズル時社會主義ヲ奉ズル  
人達ハ□オウオウ□ニシテ国家ハ支配  
階級ノ国家也。支配階級ガ  
被支配階級ヲ即チブルジョアジーハ  
プロレタリアをよくあつして行くこと  
は国家ノ本質也。いづこに共同の  
目的があるか何が共同ニ會かと  
(18・19頁ノドの中央部に横顔の肖像画あり)

## (19)

考へるかも知れぬ。しかしその考へ方ハ  
誤ツテ居ルト吾人ハ考フルモノ也。  
国家ノ本質ハ階級支配ニアリト  
或ル人々ハ主張スル。或ハ或種ノ  
国家ノ現状ニ於イテハカカル所モ  
アルカモ知レヌ。併シ決シテソレガ  
国家ノ本質デアルトハ考ヘラレナイ  
ノデアル。少クトモ吾日本ノ国家ニ  
アツテハ階級ヲ超越シタ一個国民  
ニ對スル国家デアル。日本ニモ明ラカニ  
有産階級と無産階級は對立シテレ。  
ソコニ階級トウ爭ハ存在スル。  
コレハケイザイ発展トヤムヲ得ザル  
コトデアツテコレヲ否定シヤウト言フノデハ  
ナイノデアル。タゞ吾国家ノ本質ガ



カイ級アル爲ニアリト言フ時吾人ハ  
□然ラズト答ヘルノデアル。吾国ニ  
アツテハ天皇ト国民トハ一体ノ関係  
ニアツテ主權ハ天皇ニアルガシカモ天皇ハ  
国民ノ代表デアルト考ヘラレル。ソノ  
親愛ノ情モ諸外国ノソレトハ異ナル  
(18・19頁ノドの中央部に横顔の肖像画あり)

## (20)

モノデアル。国民ハ天皇トノ関係ハ  
直接デアツテ決シテソノ間ニ<sup>ブローカー</sup>仲買的  
階級<sup>#</sup>ノ存在ヲ必要トシ<sup>#</sup>□ナイ。又  
忠君愛國ノ専賣家ヲ必要トシテナイ。  
資本家ト言ヘ労働者ト言ヘケイザイ  
的ニハ相對立スル2者デアツテ  
一個国民トシテハ常ニ忠良ノ  
臣民デ国家的見地カラハ何等  
差等ガナイ筈デアル。

コノ次

一時間

ブ

プランク

<sup>#</sup>

(コレハ

一年ノ時ノ

のうと

修身ノートニ在リ)

<sup>#</sup> <sup>#</sup> <sup>#</sup>

(頁中央右側に朱書きで「D $\frac{\pm}{-2,5}$ 」とあり)

## (21)

国家ト個人ナラビニ愛國心  
ニツキデ。  
吾  
個吾人ハ今ヤ吾人ノ国家觀ノ大略ヲ述べ  
終ツタノデアルガ、ソノ吾人ノ所謂国家ハ  
現実政治組織ノ背後ニ存スル本質的ノ  
国家ヲイミスル。シカルルニ現代法学者や  
ケイザイ学者ノ言フ所ノ国家ハソノ  
本質ヨリ派生シタル制度トシテノ国家ヲ

イミスルノdeal。本質的ニハ国家ト個ト□  
關係ハ決シテ解離スベキモノデハナク、  
国家ハ民族精神或ハ国民イシキノ  
代表デアツテ□ソノ中ニ含マルル個人  
トハ分離スベカラザルモノナルコトハ  
スデニ述ベタ所也。シカルシカルニ  
制度トシテノ国家ハソノ本質ヨリ  
派生シタモノdealガ派生ハ往々ニ  
シテ不純ナル分子ノ混在ヲマヌガレヌ  
モノ也。本質的ニハ国家ハ国民意識ノ  
代表デアツテ国民相互フ助ノ結合deal  
外ニ対シテハ侵害ヲ防ク爲ノ闘争ハ  
アルガウチニ対シテハ互相デナケレバ  
ナラヌ。互相ガ本質デアツテ闘争ハ  
タバ互相ノタメノ闘争ナリ。

## (22)

然ルニ国家モ亦制度トシテ表ハルル時  
ニハ、ソノ制度ヲ作ルモノハ人間デアツテ  
制度ソノモノガ既ニ□缺カンアルヲマヌ  
ガレヌガソノ上ニソノ制度ヲ動スモノ  
コ  
ハ少数ノ人間deal。ソノ故ニ個人ヲ  
コウソクスルモノハ制度ソノモノデ  
ナクフツウ人間deal。コノ人間ハ  
制度ソノモノホド公平無私デアリ得ル  
筈ナシ。勢自己又ハ自己ノ解禁以  
外ニカタヨルコトヲマヌガレヌノダ。カクテ  
現実ニ於イテハソノ制度ニ依ツテ  
特ニ利益ヲ得クル一部ノ人々ガ  
生ズルモノdeal。故ニソノ制度ニ依ツテ  
利益スル一部ノ人々ハソノ制度ガ  
『會ノ進化ニ応ジテ進化スル  
コトヲ明白メイワクニ思ヒ本能的ニ

又意識的ニ出来ルダケソノ制度ヲ

相  
個定シヤウトスル。コノ様互ヲ見ナシテ  
S o c i a l i s tハコレヲ国家ノ階級的  
性質トイフノdeal。ソシテコノ

階級性ガ国家ノ本質ナルガ  
如ク考ヘテ居ル。然ルニ制度ハ

### (23)

必然ニ<sup>レ</sup>會ノ進化ニ応ジテ進化スベキモノデ  
アツテコレヲ個定スルコトハソノ昔後ニ  
アル国民ノ生活事実ナル本質的国  
家ト漸時解離スルコトナルノダ。  
カクテ国家ナル制度ハ国家ノ大多数ノ  
生活事実ト<sup>ボツ</sup>溺<sup>没</sup>コウシヤウ□個□定スル  
モノデアツテ、ソレニモカカハラズ、ソノ  
ボツコウシヤウナル制度ガソノ生活事

実ヲ離シタル制度ガ国民ニコウソクヲ加  
ヘヤウトスルニ至ルノデアル。ココニ  
制度トシテノ国家ト個人或ハ階級  
トノ衝突トウソウヲ生ズルニ至ル

ノデアル現在多クノ国家ニアツテハ  
コノ制度ノ固定ニ依ツテ利益ヲ受ク  
ルモノハ資本家階級デアル。カクテ

イシキ的無イシキ的ニ資本家ノ利益ヲ<sup>ト</sup>  
国家ノ利益トヲ誤認シ又誤認<sup>ヲ</sup>  
セシムルモノ也。労働者ノ生活ヲ  
ヨリヨクスルコトヲ国家ノ不□□ノゴトク  
□□イタク国民一般權利ノ拡張ヲ  
国家ニキケンナルガ如□ク考ヘタリ

### (24)

スルニ至ルノダ。事実ハシカシカクノ  
如キ考ヘ方ヤカクノ如キ制度ノ

固定  
語弊ハ本質的<sup>ヲ</sup>国家ソノモノニトツテ  
メイワクシゴクノ事ニシテカヘツテ

国家生活ヲキケンナラシムルモノ也。

吾人ハ所有保守思想ヲキケン思想ナリ  
トスル以所ハソコニ存スル。

彼等ハ国家ヲソノ本来ノ性質ニ

シタカツテ理解セズニソレニ依ツテ  
理徳スルモノノ無イシキ的乃至有イシキ

執  
的失執意ノモトニ依然トシテソノ  
理徳ヲケイゾクセラルベキ形式ニ  
ソノ制度ヲ固定シヤウトシテ居ル  
ノデアル。ココニ現代国家ノ  
色々ノ不都合ガ生ジ来ル□  
モノデアル。コノ（全体）国家ノ  
現代

本来ノ性質ヨリノ離脱ハ  
ソノ本来ノ性質ニヒキモドサル  
ベキモノアル。現代ニ於ケル  
（頁下部に朱書き縦書きで「D 3」とあり）

## （25）

諸種ノ政治運動乃至Ⅱ 會運動ハ  
コノヒキモドシヲ要求スル真ニ於イテ  
タバシイモノデアリ、ソレ以上ニ出ヅル  
所時ハ即チソノ本来ノ国家迄モ  
クツガヘサントスルニ至ル時ニハ危険  
思想デアル危険ナル運動ト足ナザルル  
ノデアル。現代ノ各国政府ガソノ  
正当ナルⅡ 會運動ニ対シテヨクアツ□  
ヲ加フルガ如キハ決シテ本来ノ国家  
ソノモノニ中正ナル所以トハ考ヘ  
ラレナイノデアル。タバ国家ナル制度ハ  
本来Ⅱ 會ノチツイデノ責任アルガ  
故ニソレヲノ運動ノ現行犯的破  
壊ニ対シテハコレヲヨク圧スルハ  
当然ノコトト思ハレルノデアル  
ガソノ本来ノ使命ニ引キモドサント  
スルケンセツ的運動迄アツパク  
ヲ加フベキモノデハナイト思ハレル。  
併シナガラ吾人ハ現代諸種ノアキ  
（頁上部と左下に肖像画あり）

## （26）

タラザル不備ヲイダキツツモ国家ナル  
制度ガ漸次進化ノ過程ヲタドリ

ツツアルモノト樂觀スルモノデアツテ  
世ノ極左論者ノハカイ的行動ニハ  
賛同スルアタハザルモノナリ。現代  
正当政治ノ性質上正当ハ常ニ  
多数民衆ノ意ヲ向ヒネバ没落ノ  
運命ニアルモノデアツテ彼等ガ  
民衆ニ約スル所ノモノハ決シテ  
ソノママ彼等ノ本心デアルトハ考ヘ  
ラレナイガ、□シカモ彼等ハ漸次  
ニイヤイヤナガラモソノ公約ヲ  
果サネバナラナイ運命ニアルモノデ  
アル。フツウ選舉一ツニシテモ  
昔青年選舉制度ニヨツテ  
エラバレタル代議士ガ決シテ  
心カラセンキヨ權拡張ヲ欲シタ  
ルモノトハ思ハレナイガシカモ  
民衆ノ自覺ト共ニソノ公約ヲ

## (27)

果サネバナラナカツタノdeal。現代ノ  
政治ニアツテハ時ノ政權ヲ支持スル  
正当ハ種々ノ事情ニ依ツテ保守的  
トナルモノdealガソノ反対黨ハ  
常ニ進歩的ノ原理ヲ以テ民衆ノ  
意ヲ迎ヘコレニ種々ノ公約ヲナスコト  
deal。ソレテソノ反対黨ガ政權ヲ  
受得ル時ニハタゞチニソノ公約ヲ  
実施スルモノデハナイガシカモ  
全然コレヲ無<sup>ル</sup>スルコトハ出来ナイ□ノデ  
アツテヤヤ進歩的ノ政治ヲ行□フ  
ニ至ルノdeal。カクノ如クニシテ漸時  
ニ進歩ヲカサネテ行クモノト見ル

コトガ出来□ノdeal。現在保守的  
ナ人達ハ国民ノ国家意識ノハク弱ト  
ナツタ事ヲナゲイテシキリニ国家思想  
ノ函養忠君愛國心ノ注入ヲ説イ  
テ居ル併シ吾人ハスベキテ本能的  
ニ又潛存在<sup>ル</sup>ニ忠君ノ念及ビ  
愛國心ヲ持ツテ居ルノdeal。

(頁上部に「右」という字が三つあり)

(28)

ただ制度トシテノ国家ガ国民ノ生活  
事実ト離レ本来ノ国家ノ使命ニ  
遠カレルガ□爲ニ制度トシテノ国家ニ  
反抗ヲ起スモノガ生ズルノミデアル。  
制度トシテノ国家ヲ持續スルノ道ハ  
国家本来ノ使命ニ適応スルニアル  
ノデアツテ所謂国家思想ヲ鞏固  
ナラ□シムル□ノモ又コレヲ置イテ  
他ニハ存セヌノデアル。外ニ対シテ  
ハ侵略的内ニ対シテハ階級圧迫  
的ノ国家ハ決シテ国家本来ノ性質  
デハ無イ。互助的性格ヲ保證障シ  
発展セシムルコトコソ国家本来ノ  
使命也。国家民ノ国家イシキノ  
ジカクハ今日コノ事ニ目ザメ来タ  
ノデアツテコレハ決シテ本質的  
国家ニトツテ危険ナコトデハナク  
反ツテヨロコブベキコトアノデアルガ  
カクノ如ク国民ノ国家イシキガ自覺  
シ来ルニ從ツテ制度トシテノ国家

(29)

ガコレニ進追スルコトガ出来漸時ハ  
ニ国民ノ要求ニトモナツタ進新化過  
程ヲタドル時ハ国家ト国民ノ間柄ハ  
□□  
実ニ一体ノ關係ニアリ、平安和と反映ノ  
重来タルコトハ明カラコトナリタゞ制度ト  
シテノ国家ハコノ追□々□ニヨツテ  
不利益ヲ被ル人達ノ手ニユダネ  
ラレテアルカラジン速ニコノ国民的  
自覺ニ追々スルコトハ出来ナイノデ  
アルガ併シソレハ国家自己保  
存ノ爲メニ必ズナサルベキコトデアルカク  
テ覺醒スセル国家意識ハ国家相互ノ  
共同目的ニ対スル共同イシキ也。コノ

即チ国家イシキニホカナラヌノdeal。  
国家制度ノ管理者ハコノ共同化  
中ニ依ツテ管理シネバナラヌノdeal。  
カクテコソ我国ノ傳統的ノ本質ナル  
君国一体君民一家ノ実モアガル  
ノdeal。要スルニ国家ト個人トノ

### (30)

關係ハ相對立スベキモノデハナク  
相合体スベキモノナノdeal。  
吾人ハコノ同ジ基礎ヨリ吾人  
ノ愛<sup>カ</sup>国<sup>トク</sup>心ヲ研<sup>リ</sup>檢<sup>サ</sup>シテ見ネバナラヌ  
吾人日本人ハ特ニ愛<sup>カ</sup>国<sup>トク</sup>心ノ  
強イモノトシテ認メラレ来ツタモノ也。  
特ニ明治以後昭和ノ今日ニ至ル  
間程国民ノ愛国的精神ノ旺盛  
ナルコトハ有史以来ソノ例ヲ見ヌ  
所也。試□ニ過去ノ封建時代ヲ  
看<sup>カヘリ</sup>ミレバ封建時代ノ武士ハ大テイ  
タバ自己ノ立君ニ對スル忠誠ト  
從順ノ他吾国家トイフモノトハ  
□殆ド没コウシヤウデアツタノdeal。  
彼等ニハ果シテ日本国ナルモノノ  
理解ガドウアツタカドウカサヘ  
ウタガハシイノdeal。カカル  
状態ヨリ吾人ノ祖先ノ愛国的  
精神ヲメザメシメタルモノ東洋ニ

### (31)

貿易ト領土トノ侵入ヲ開始シタル  
歐米諸国ナリヤ。コノ對外關係ハ  
吾人ノ先輩ノ潜在セル愛<sup>カ</sup>国<sup>トク</sup>心ヲ  
奮起シタモノナノdeal。カクテ外国  
トノ關係ガ深クナレバナル程吾国民ノ  
愛<sup>カ</sup>国<sup>トク</sup>心ハ旺盛トナリ至ツタモノ也。  
シカルニ近時ニ至リ我國民ノ  
愛<sup>カ</sup>国<sup>トク</sup>心ニ混乱ガ生ズニ至ツタ  
カクテ老人ヤ保守的ナ人達ハ  
吾青年ノ愛<sup>カ</sup>国<sup>トク</sup>心ガ薄弱ニ成ツタト  
ナゲキノ聲ヲ發スルニ至ツタノdeal。



併シ吾人ハイタヅラニコノサタン

ノ聲ニ雷同スルコトハ出来ヌ。吾人ハ

ソノ如何ナル所以ニ由ルカヲ

検討シテ見ネバナラスノデアアル吾人

ハサキニ制度トシテノ国家ニ

対シテハ国民ノ自カラト共ニ

従前程盲目的エ忠誠ヲササゲ

ラレル、反ツテシバシバ反抗

聲ヲキクニ至ツタ所ノソノ根據

(頁上部横顔の肖像画あり)

### ( 3 2 )

説キ及ボシタノデアアルガソノ制度トシテノ

国家ニ対スル反抗ノ聲ハ決シテ国

家民ノ愛国的ノ精神ノ

ハクジヤクトナリシコトヲ意味スル

モノトハ考ヘナイ。反ツテソレハ

眞ノ本質的国家ニ対スル熱

愛ハ心ノ表現デアルト考ヘラレ

ルノデアアル。即チ制度トシテノ

国家ヲ本質的国家ノ脱離ヨリ

ヒキモドソウ

必要トスル愛国的運動ダ

ト考ヘラレルノデアアル。今日ノ如ク

ニ国家ガ本質的ナル存在意義

ヨリ離脱セル際ニ制度トシテノ

国家ノ本質トシテノ国家ニ関スルガ

如キ行動ヲ餘リニ無批評判

ニ受ケ入レタリ又ソソノ意志ノ

実行者トナル等ハヒツキヤウ

国家ノ事態ノ本質ニ反スルコトデ

アツテ反ツテ本質的国家ヲハク弱

(頁下部に朱書きで「D 9. 5」とあり)

### ( 3 3 )

ナラシムルモノ也。昔ドイツ国民ハ

昔ドイツ政府ニ忠誠ナルコトヲ

直チニ本質的ナルドイツ国家ニ

忠誠ナルモノト誤認シテ反ツテ

今日ノ悲境ニドイツ国家ヲオチ  
イラシメタノデアル。国家的ニモ  
コレヲ見ルコトガ出来ル。昔ロシアノ  
ツァールハ眞ニロシア国家ノ  
代表者デハナク実ハ少数支配  
階級ノ代表者ニ過ギザリキ  
シカルニロシアノ政治家間官吏  
或ハ教育家等ガツァールニ対  
スル忠誠ヲタバチニロシアノ国家ニ  
対スル忠誠ト誤認シ餘リニ  
盲目的ニコレ□ニ忠誠ヲ  
ササゲタル結果ハ噲進化ノ  
過程ヲ飛躍シテロシア国家  
ヲシテ今日困難ナル道程ニ突入

#### ( 3 4 )

セシメタモノデアル。<sup>レーニン</sup>ベーニニノノ実践  
理性ヲシテ理論理性ヲ無  
□ セシメタル原因ハココニアルノダ。  
以上ノ如クデアルガ故ニ現代  
吾国民ノ愛国心ガ衰ヘタノデハ  
ナクシテソノ衰ヘタガ如見ユル  
ノハ現代国民ガ理智的ニ  
目覺メタル結果ニシテソレハ  
愛国精神ノ進化ナリ。コノ故ニ  
現代ニヨツテハ愛国的精神ハ  
ソノ服従ト奉仕ノ性質ヲ批  
判シ自己ノ理性ニシタガツテ  
處置スルニアルノデアルカラ勿  
論吾人ハ一国民トシテ国家共  
同噲ニ生存シテル以上ハ  
自己ノ□批判ヤ意志ヲ或ル  
程度迄ギセイトスル□ノ覺  
悟ヲ要スルガ本質的ニ考ヘ

#### ( 3 5 )

テ愛国的精神トハ一種ノ心ノ  
f o r mデアツテソノ内容タル  
個々ノ所爲ハ吾人ノ□理性ニ

ウツタヘテ判断スルノ他ハナイノデ  
アツテ如何ナル場合ニ於イテモ  
制度トシテノ国家ノ命ニ從フコト  
コレ愛国的デアルトハ断定  
スルコトハ出来ヌトイフコトヲ言ツタ  
ノミデアル 以上ノ如ク□ナルガ故ニ保守  
的ナ人達ノ所謂愛國精神ノ缺乏ノサタン

ハ実ハ愛國精神ノ□進化デアツテコレアツテ  
始メテ現實国家ヲシテ本質的国家ニ近ヅカ  
シムルモノデアルカラ何等憂フルニ足リナイ  
程デアル。要スルニ現代ニ於ケル愛國的  
精神ハ以上ノ如キ意味ニ於ケル服從ト  
奉仕デナ□□ケネバラナヌ即チ□盲目的  
服従ジウト奉仕デナハク批判的服従  
ト奉仕デナケネバナラス。カク国家ヲ  
シテ自由ニ国家ノシゴトヲ批判セシムル  
(頁上部に「㊦」とあり)

### (36)

時ニハ時ニアル現實国家ノ持つ目的ヲ防□  
ソノ国家の行動ヲニブラセルカモシレヌガ併シ  
カクナスコトガ国民ノ意志デアルリシタガツテ  
本質的国家ノ意志デアルカラハ、カクナス  
コトガ本質的国家ソノモノノ爲ナノデアル。  
カクテコソ国家ガ道德的存在トシテ  
意ギアルモノデアツテ国家ハ国民ヲシテ  
制度トシテノ国家ノ偏見ニ盲目的ニ  
服従セシムルヨリモ自由ニ独立ノ  
批□判ヲ国家制度ニ加ヘウルヤウナ  
国民ヲ持つ方ガ国家ソノモノノ安全  
發達ノ爲ニ必要ナコトデアル。合理  
的批判ニ依ツテ国家制度ノ進化  
ヲウナガスコトハ盲目的服従ジウヲ  
シイテ国家制度ヲ固定セシムルヨリモ  
ハルカニ国家ヲ強固ニシ安全ニ  
ナスノ道デアリ、カクナスコトガ眞ニ  
愛國的ナノデアル。吾人ハコノ立場ヨリ  
眞理研究ニ對スル自由ヲ絶対ニ必  
要ナルモノデアルト考ヘテ居ル。但シ

### (37)

眞理討究ノ名ニカクレテ盲目的信仰ニ  
依ル實際運動ヲ起スガ如キハ吾人学生  
トシテハトクニツツシムベキコトデ  
アツテ眞理非眞理ノアラソヒ思索  
研究ニ依ルノ他全ク解決ナキコトヲ  
知ラネバナラス。イヤシクモ強力ニ  
依ツテ眞理非眞理ヲ決定セントスル  
如キ或ハ他人ニ自己ノ信ズル所ノ  
眞理ヲカニ依ツテツメコメントスルガ  
如キハ学生トシテナスベキコトデハ  
ナイト思フ。数学ヤ物理学ノ問題ニ  
対スル解答ヲ柔道ヤ剣道ニ依ツテ  
決定シヤウトハ何人モ考ヘザル所デ  
アルガ、研究ガ一タビ<sup>カヘ</sup> 會科学ノ  
研究ニ返ヘレバ<sup>チカラ</sup>タチマチコノ傾向ノ生ズル  
コトアルハ人性ノ止ムヲ得ザル所デアルガ、  
深く考ヘナケレバナラス。吾人ハ  
国家管理者ナルト或ハ勞働者学生  
ナルモ問ハズ<sup>チカラ</sup>力ニ依ツテ眞理ヲ決定  
セントスルノ愚ヲ極力排斥スルモノダ。  
コノ態度ハソレヲ採用スルモノガソノ  
(頁上部に肖像画あり)  
(頁上部に「美少年」とあり)

### (38)

イヅレノ側ニ屬スルトモ共ニ国家自体  
ニ危険ヲ及ボスモノデアルト考ヘルノデ  
アル。  
吾人ハ少年ノ頃ヨリ常ニ愛国心ニ就イテ  
説キキカサレタ、シカシソノ愛国心ハロシア人ノ  
露助ト呼ビ支那人トチヤンコロト言フガ  
如キイワユル自国本位主義ノ愛国心  
デアツタ。アメリカ人ガ日本人ヲ見タ j a p p  
ト言フゴトキモ実ニコノ同ジ愛国心ノ  
アラハレデアル。コノ種ノ愛国心ニ  
依レバ個人道德ヨリ見テ如何ニ  
不都合ナルコトモソレガ一度国家ノ  
行動トナルトキハ無條件ニ<sup>#</sup>是認スルガ

如キ愛国心ナリ。国家ノ行動ニ対シテハ  
言論ノ自由ヲ有セズ盲目の服従ヲ  
シウルガ如キ愛国心ナリキ。侵略的  
国家主義ヲトル国家ハスベテ種ノ  
愛国心ヲ強制スルモノ也。併シソレハ  
前ニモノベタ如ク国家ノ本質デア  
ルトハ考ヘラレナイノdeal。現今世界ノ

### (39)

強国ハスベテ種ノ帝国主義ヲトツテル。  
コレハ吾国ノ帝国主義者ノ述ブルガ  
通りダ。併シコノ故ニ吾国モコノ  
主義ヲ取ラネバナラストイフ論理ハ  
成リタタヌ。現今ノ世ノ中ハスベテノ人ガ  
平和ニ親密ニ生活シテ居ルヤウニ見ユルガ  
実ハ各人皆E g o i s mヲ以テスキガアレバ  
乗ジヤウトシテ居ルカラ油断ヲシテハナラヌ。  
又人カラ行撃ヲ受クル時ニハ防禦ヲシネ  
バナラスト言程ノ意味ノ自国本位主義  
dealナラバ何人モ意異存ノナイ所ナリ。

吾人ト言ヘドモ他人ノ帝国主義ノ爲ニ  
吾国ガ侵略ヲ受クル<sup>国</sup>的ニハ直チニ  
武器ヲ持ツテ立ツノ覺悟ヲ持ツテ  
居ル。併シ吾日本ガ東洋ノ君子国タルノ  
立場ヲ捨テテ公然ト他ノ帝国主義国  
ノ仲間入りヲスルコトハ決シテ執ル  
ベキ策トハ考ヘラレヌ。吾人ハ道德  
ト  
的立場ヨリコノ策ノ不可ナルヲ信ズルヲ

### (40)

共ニ更ニ実サ<sup>イ</sup>的立場ヨリモコノ策ヲ危険  
ナリト信ズルモノダ。個人に於イテ自己  
本位主義ハ常ニ強者ニ有利デアツテ  
弱者ニトツテハ之程不利ナ主義ハナク  
弱者ハ正義ヲ主義トスルコトガ最も有利  
ナリト同ジク国家間ニ於イテモ又同  
様ナノdeal。吾国ガ世界各国ノ間ニ  
處シテ弱者dealトハ信ジナイガサリ

トテサリ□強者デアルトモ又考ヘラレヌ。  
カカル事情ノモトニアツテ吾国ガ帝  
国主義的行動ヲトルコトハ反ツテ  
旧ドイツノテツヲフムモノデハナイカ  
トキグセラルルコトナクコレハタバ

一例デアツテ其ノ果シテカクナルヤ否ヤ  
ハ未ダ研究ノ餘地アリトスルモ  
吾人ノ□心的態度ノ異ナルハ信ジテ  
疑ハヌ所デアル。クリ返ヘシテ言フガ  
吾人ノ愛国心ハ体対内的ニモ対  
外的ニモ盲目的愛国心デハナク  
シテ批言判的デナケナバナラヌ。  
(頁右下には朱書きで「D 4」とあり)

#### (41)

歴史上ヨリ見タル吾国ノ特性。

今迄ノ所吾人ハ吾国体ノ本質トカ或ハ  
特種国ノ同種特殊改造トカトイフ  
言葉ヲ述ベタガ吾国ガ本質的ニ諸外  
国ト異ル所以或ハ特殊国タルノ  
所以ニハ□説キ及ボサナカツタノデアル。  
コレヲ知ラムガ爲メニ吾人ハ吾国ノ  
歴史ノ上ニソノ根據ヲ求メネバナラヌ。  
然ル吾人ハ少年時代ヨリ教ハリ  
来ルガ如キ古事記或ハ日本書紀ノ  
神代記ノ如キニ其ノママ信ヲ置キ、  
吾国ノ神国トナル所以ヲ説クコトハ

判  
吾人ノ批評的精神ガコレヲ許サ  
ヌノデアル。ナゼナラバコレヲ記紀ノ  
表レタルハ漢字渡来以後ノモノナルコト  
ハ明カデアツテ、当時ニアツテハ字ヲ  
讀ミ得ルモノモ文章ヲ作り得ルモノモ  
当時ノ政府ノ人達及ビ少数貴族ノ  
他ニナカツタノデアル。故ニコノ人達ノ

記紀  
政策ナル危機ノ人□神代記史ガ

## (42)

特殊ノ目的ヲ以テ作り出サレタルモノ  
ナルコトモ想像セラレ得ルノデアル。コレハ  
吾皇室ノ由来ヲ説キ貴族等ノ祖先ヲ  
飾ラントスルモノデアツタデアロウト  
想像セラレル。ソレヲソノ内容上カラ  
コレヲ見ルモ決シテ歴史デハナク作り  
物語ナリトノ感じヲ強ク受ケルノデ  
アル。更ニソノ内容ニ多少ノ哲学的  
思想ヲ含ムヲ見レバ支那ノ學問ノ

影響ヲ受ケテ作ラレタルモノナルコトヲ<sup>モ</sup>  
想像ニカタクナイ。コレハ□タバニ歴史<sup>〃</sup>  
トシテ見ルコトヲ得ヌノミナラズ吾<sup>〃</sup>  
民族ノ傳説トサヘ見ルコトヲ得ナイ<sup>〃</sup>  
ト思ハレル所以也。文字モナキ  
吾民族ガ哲学的思想ヲ含シタ傳説  
ヲ以テルトハ信ジガタイ所ダ。□特ニ<sup>〃 〃 〃</sup>

以上ノ如クナルガ故ニ吾人ハ外国家ノ  
特性ヲ研究スルニアタツテ神代

## (43)

史ハ□眞疑不明ノモノトシテ捨テ去ラ  
ネバナラス。シカラバ吾人ガ歴史トシテ  
研究シ得ルモノハ□上古以後ノコト  
デアル。『上古ヨリ平安朝末期ニ至ル

間ノ吾ガ国家ノ特性ノ研究。』

吾大和民族ガ本島ニ居住シタノハ何時  
ノ頃デアルカハ全ク知ルコトガ出来ナイガ  
非常ニ古イ時代カラデアルコトハ想像  
シ得ルノデアル。吾人ノ知識ノ及ブ時代ニ  
於イテハ吾人ノ祖先ハ既ニ自分達ノ民族ノ  
由来ナドハ全ク忘レ去ツテ居タコトト思ハレル  
事也。併シ吾民族ノ名ガ文獻ニ表ハレタノハ  
ソ□シナニ古イ時代デハナク紀元前一世紀ノ  
頃支那ノ漢代ノ始メデアル。即チ  
吾筑紫人ガ朝□鮮半島ニ於イテ支那人



ニ出アツタコトハ支那ノ文獻ニ依ツテ知リ  
得ルノデアル最モコノ時代ニアツテハ吾民族  
ハ本島ニ民族トシテ分散シテ生活シテ居タ  
ノデアツテ国民トシテ統一的生活ヲナスニ  
(頁上部に肖像画あり)

#### (44)

至ツタノハズツト後ノコトダ史家ノ説ニ依レバ第四  
世紀頃即チ支那ノ晋□代ノ頃トノ事デアルガ  
シカラバ吾民族ハ国民トシテノ歴史ノ  
始マル前ニ長ク民族トシテ生活□シテ  
居タモノダ ソシテ吾々ノ智識ノ及ブ時代ニハ既ニ  
吾国内ニハ有力ナル異民族モナクシタガツテ大ナル  
民族間ノ衝突モ競争モナク安全ニ居住シ  
テ居ル平□和□国民デアツタノダ タバ  
関東地方ノA i n uト接觸シテ居ル  
地方ニハ絶エズ争鬭モアツタデアラウガ  
ソレ□ハ国民生活全体ヲ動遙サセル程ノ  
モノデナカツタ 吾民族ノ生活ノ基礎ハ  
ソノ頃既ニ農業ニ依ツテタ氣候モガイシテ  
温和デアリ 土地ハ肥□エテタカラ当時人口  
ノ未ダ少イ時代ニハコノ国土ニ安住シテ  
生活ノ場所ヲ他ニ求ムル他必  
要ガナカツタノダ又島国タルノ性質  
上A i n uヲノゾイテハ異民族トノ  
接觸ノ機會モ少イ東亜唯一ノ文  
明国タル支那トハ可成ノ距離ヲ有ス

#### (45)

ルガ爲ニコレニ圧迫ヲ受ケルコトノナカリシガ  
故ニ吾国民ハ移民族トノ接觸ヨリ  
生ズルハゲシイ民族競争ヲケイケン  
シタコトガナク殺バツナ戰鬭的□氣象等ハ  
アマリヤシナハレズ平和ナ国民ダツタノダ。  
又国ノ内部ニ於イテ見ルモホトンド  
激シイアラソヒ等ノ行ハレタヤウニハ思ハレヌ。  
国民トシテ統一セラレナイ前ニハ地方的ニ  
多数ノ少小君主ガアツテ互ヒニ多少ノ争ヒハ  
アツタラシイガソレモタイシタ激シイ  
争ヒデハナカツタラシク 豪族ガ他ノ

豪族ヲ征服スルトイフ如キ場合モ  
テツテイの征服トイフヨリハムシロ早く  
ダキヤウヲナシタト考ヘラレル。豪族ノ

建

中デハ出雲タケル熊ソタケルトカトイ  
言フモノハ多少有力ナモノデアツタデアラウカ  
併シ大シタモノトハ思ハレヌ。尚コレラ  
豪族ガ長ク對抗的ニ争ツタモノデナイ  
コトハ城塞ノ設ケラレナカツタ事デモ  
想像セラレ得ルノダ。以上ノ如キ

#### (46)

状態ヨリ又一方温和ナル気候風土ノ関  
係ヨリ古代ノ吾民族ハ幼稚ナル楽天的  
性格ノ持チ主デアツタヤウニ思ハレル。  
コノ現世ヲ現理想的国土トシテ  
楽観的ニ考フル民族デアツタノダ。  
ソシテ死ノ国ハ夜ノ国ト考ヘ  
シカモ地下ノ暗イ汚イ世界ト考ヘテ  
来タノデアル。カカル状態ニアリシ吾民  
族ガ或ル時期ニ吾皇室ニ依ツテ統一  
セラレタノデアル。コノ統一ガイカナル  
動機イカナル事情ノモトニナサレタカ  
イカナル経過結果ヲヘテナサレタカハ明ラ  
カニスルコトガ出来ヌガ地方的豪  
族ハ多クハ大シタ反抗モナシニ服従シ  
皇室ノモトニ屬シテソノ地方ヲ支配  
シタモノト思ハレル。ソシテヤガテ  
皇室トソレラ豪族トノ関係ハ  
親和ナル関係ニ立チ至ツタヤウデ  
アル。コノ故ニ皇室モ威力ヲ以テ

#### (47)

氏ニハ氏ノ<sup>ガミ</sup>上ガアツテソノ氏ノ<sup>ウヂ</sup>氏人<sup>ウヂビ</sup>ヲ  
支配シ各戸個ニハ家長ガアツテ  
ソノ家族ヲ統率スルモノ也。  
ソシテコレラ氏ニハ更ニ<sup>部</sup>(or<sup>伴</sup>)  
ト稱スル<sup>子</sup>團體ガコレニ附ズキシ  
更ニやつこ(or<sup>奴</sup> or<sup>家人</sup>)等も

臣  
隷屬シテタノダ、氏ハ皇別 神別  
蕃別□ニ別レルモノデアツテ即チ  
（征服者）（征服者ト共同又ハ  
ダ協シタル同一種族）及ビ（歸化  
外人ノ構成シタルモノデアツテ古代  
ノ全人民ハ包含スルモノデハ  
ナカツタノデアアル コノ氏ノ中デ  
最高ノ氏ハ天皇氏デアツタガ天皇氏ガ  
土地及ビ全人民ヲ直接統正スル  
モノデハナク、個々ノ土地人民ハ  
幾多ノ氏ノモトニ統正セラレテ  
居タノデアアル。即チ天皇氏ヲ最高トスル  
体整制  
氏ノ自由連合ノ大成ノ成スモ

#### （48）

ノデアツタ。各氏ハ大体ニ於イテ特種ノ  
職能ヲ有スルモノデアツテ□祭祀ヲ  
司ル中臣齋部インベ氏トカ軍事ヲ司ル  
久米氏トカ王造部矢造部  
等ガ特種ノ氏ニ屬シタル如ク多ク  
特種ノ技能ニ依ツテセイサン組織

ニ参加シタルモノ也。而ウシテ  
天皇ガ直接全人民□ヲ統治セラレズシテ  
上 通ジテ  
各ソノツイデ氏ノ長ヲ作リヲ統轄セラ  
レシモノニシテコレハ中古ノ産業組織  
ノ guild ノ組織ニ類似スヲ見出ス  
吾上古ノ 會ハカカル氏ノ連合ニ  
依ツテ組織統正セラレタルモノ  
ニシテ政治上經濟上共ニコノ  
血族團體ノ連合ソシキデ  
アツタト考ヘラレタ 即チ血□屬  
族ニヨリ共同 會デアツタト見ラレ  
得ルノダ モツトモコノ上古ニ  
於ケル状態ハ現今ヨリ想  
像シテ明白ニ知ルコトヲ得ヌモノ

#### (49)

デアツテ今吾々ハ各氏ガケイザイ<sup>ニ</sup>範  
單位ヲナセルガ如ク考ヘタガ後ニ  
至ツテハ明ラカニ氏ハケイザイ單位  
タルヲ□失ヒケイザイ單位ハ  
Ⓢニウツタモノダ。更ニ後ニハ戸ノ  
ウチノ<sup>カ</sup>ガケイザイ單位トナルニ  
至ツテ居ルノダコレハ氏ソノモノ  
ノボウチヤウ發展ノ自然ノ結果  
デア<sup>ル</sup>ツタノダ。トニカク私ハ  
上古ノ初期ニ於イテハ吾<sup>ノ</sup>會  
ソシキハ氏ノ自由連合組織ヲ  
ナセルモノデアツテ各氏ハ利害<sup>ノ</sup>□  
ト目的トノ一致ノ上ニ共同<sup>ノ</sup>會  
組織ヲナセルモノデアツタト信  
ズルモノダ。カカル組織ノ上ニ  
アツテ天皇氏ガ常ニ最高ノ位置  
ニアリカツ勢力旺勢デアツタノハ  
歴代ノ天皇ガ常ニ産業シヤウレイニ  
カヲ致サレ農業ヲ始メ工藝等  
各種<sup>サン</sup>産業ヲ奨励セラレタルニ

#### (50)

依ルモノデ血□族上尊貴ノ位ニ  
アリシニ加フルニコレラノ功績ハ  
當時ノ人民ノ忘ルベカラザル  
モノデアツタノデア<sup>ル</sup>。コレヲ  
單ニ征服者ノ武力ニ依ツテ  
説明セントスルコトハ甚ダアヤマレル  
モノデア<sup>ル</sup>ト考ヘラレル。

氏族制度ニツイテイチイチクワシク  
説明スルコトハ吾々研究範圍外  
デア<sup>ル</sup>カラコレハ他ニユヅル  
コトトスルガ今上古ニ於ケル  
<sup>ノ</sup>會階級ニツイテ一言ツヒヤシテ  
置キタイト思フノデア<sup>ル</sup>。氏ニハ  
部ト稱スル團體及ビ奴ト  
稱スルモノガ附ズキシテ居タコトハ  
サキニスデニノベタ所デア<sup>ル</sup>ガ  
上古ニ於イテ氏ヤ<sup>カバネ</sup>姓ヲ有シテ

居タモノハ当時上流階級デアツテ  
諸稱ノ部ノ世襲部種主長及ビ  
地方管理者ノ一族ナリ。

9,5

(頁下部に朱書きで「D~~チ~~」とあり)

(頁4行目に朱書きで「D」とあり)

### (51)

□ソシテコレニ附ズキスル部民ニハ品部<sup>トモベ</sup>  
部曲<sup>カキベ</sup>トノ□□別アリテ皇族ニ  
ゾクスル部ヲ品部ソノ他ノ豪族ニ  
ゾクスル部ヲ部曲トイフノdealガ  
彼等部民ハソノゾクスル氏ヲ稱スル  
ガ姓<sup>カバネ</sup>ヲ有セナイモノデアツテソノ身分  
ハ半自由民デアツタ。更ニソノ下ニ  
氏モ姓モ有セナイデタバ名ノミヲ  
有スル奴<sup>ヤツコ</sup>ガアツテコレハ不自由民  
即チ奴隷デアツタノdeal。即チ  
上古ノ<sup>ニ</sup>會ハ階級ニ依ツテ見ルトキハ  
自由民タル貴族ト半自由民トタル  
部民ト不自由民タル奴トヨリ  
成ツタモノ也。

姓氏——自由民

部民——半自由民

奴

部民 氏ノモトニ屬ス、團體ヲナス、一定ノ職ヲ  
持ツ。

氏——戸——奴<sup>ドレイノ如シ</sup>

(頁中央下には肖像画あり)

### (52)

姓氏ハ自由民、部民ハ半自由民、奴ハ不自由民。

部民ハ氏ナル団体ヲ成シテ一定ノ職業ガアツテ自分ノ屬スル氏ト自分ノ民ト同一血族ナリ  
ト

信ズル。『會的地位ハ半自由民ナリ。一戸ヲナシテ而モ氏ニ屬ス、部ノ内ニ邑部(トモベ)  
ト部局(カキベ)トニ分レ、伴造(トモノミヤツコ)ガ管理スル。而モコレハ皇室ニ屬ス  
ルノデ氏ノ

私有ノモノデナイ。後ニハ氏ノ私有ノ民トナル。大化改新ナドモソレニ對スル改革ナリ。

奴ハ各部民ノ戸ノ内ニ屬シ全ク不自由民デ当時ノ下層階級ヲナス。吾国ニテモ

奴隸ノ存在ハ明カナリ。奴隸ノ發生ノ源因ハ外国ノ奴隸ノ發生因ト同ジク（（１）征服ニ依リテ奴隸ニサレ（２）犯罪ニヨル奴隸トナル。日本書紀ニ韓奴、高麗奴、蝦夷奴、ナドハ征服ニヨル奴隸發生ノ例ナリ。犯罪ニ依ル奴隸ノ例ハ應神記雄略記ナドニ見エル。上古ノ噲ノ生産噲、勞働噲ハ部デアツテ、コレガ經濟生活ノ中心ニナツテキル。後ノ奈良朝時代ニナツテ奴隸ガ生産階級トナツタノダ。

上古ノ時代ノ特徴トスルモノヲ考ヘレバ、後世ノ本質的ニナツタモノガ、コノ時代ノ特徴デアツタコトガワカル。上古ニテハ日本のニ統一シテキタノデハナク種々ノ民族ノ雜混デ段々雜婚ニ依リ統一的ニ成ツテ来タ。現在ノ皇室ノ先祖、天孫族ガ中心ニ成ツテ單ナル士族ヲ形成シテ居タ。同一血族カラアラハレタトイフコトハ全ク夢想ナリ。若シ同一血族デハ廢退シ、今マデノ發展ヲ来サズ、人類学者ノ言フ様ニ同一祖先デナクテ而モ血族ガ割合ニ近イ關係ニアル人種ガ互ニ雜婚シテ優秀ナル人種ヲ形成シタ。日本ノ国家トシテノ形態發生ハ大化改新以後ナリ。吾国ノ特長ナルコトハ上古以来天皇ガ直接政權ヲ握ラズシテ氏ノ上ニ權ヲ与ヘテ合議政治ヲヤラセタ、平群、大伴、物部、曾我、トカノ各大氏ガ生シ天皇ハ直接政治カラ離シテ一般人種ノ統一体トナツテ居タトイフコトナリ。コレDemocraticナ思想ガ養ハレテキタトイフコトナリ。聖徳太子ノ頃ニイタツテ尚アラハレタ「事ハ独り断ズ可カラズ（ノドに書き込みあり）」

### （５３）

必ズ衆ト論ズベシ」ノ言ニヨリテモ明カ。

大化改新以後：民族制度ノ噲モ段々ウツリカハリテ弊ヲ生ジタ。

（１）人口ノ増加ニ從ツテ（２）住居地域ガ拡大シテ来タ（３）強大ナル氏ガ專横ヲ極メル

様ニ成ツテ来タ、コレラカ（４）支那朝鮮ト交通以後生活ガ向上シテ来テ、ソレニ伴ヒ、

（５）經濟狀態ガ變化シテ来タ。コレガ原因トナツテコノ民族制度ハ維持出来ナク成ツタ。ソコニ外来ノ儒教佛教ノ思想ガ發達シテ来テ、上流階級ノ自覺デ又下流噲ノ自覺ナリ。氏族制カラ郡縣制度ニ變ツタ。然シ大化改新ハアマリニ唐ノ制度ノモホースギテ

當時ノ実情ニ合ハヌ臆ガ大部アツテ空文ニ成ツタモノガアツタ。明治

（後三条天皇ハ親裁コレダケ）

維新ト共ニニヅハニ大改新ト考ヘテヨイ。明治維新ハ天皇親裁

タメニ

トカノ如キニ非ズ。大化改新ノ貴族政治カラ官僚政治ニナリ、スグ又貴族政治ニナツタ。吾国ノ鎌倉時代頃ノ神国ナリノ思想ハ神ノ子孫デ皇室ハ宗家デ人民ハ分家ナリトノ思想デ外国ノ如キ王權神授デナイ。大化ノ改新ニヨリ（１）日本民族ガ統一的覺醒ヲ生ジタルコト即日本ハ日本民族ノ国家ナリト意識シタコト。

（２）血族ヨリ出デシ身分ノ上下ニヨリテ能力ニヨリテ能力主義ヲ

採用セラレタルコト。(3) 次ニハ、部民ナル□半自由民ヲ解放シテ自由民トシタルコト。次ニハ(4) 土地制度ニ於イテ、例へ部分的ニ実行セラレナカツタガ、トニカクモ財産トシテ唯一ノモノトシテノ土地ニ土地共産制度ノ精神ヲ採用セラレタトイフコト。而ウシテ土地ノ配分法ニ於テ唐制ヲモホウシナガラモ労働力及ビ擔□税力ヲ基礎トセズシテ生活ノ□需要ヲ基礎トセラレタルコト。配分法ニハ能力ヲ基礎トセズシテ

スルコト。

必要ヲ基礎トセズ

(頁上部には筆記体で「m i y a s h i t a」や「s u m o b u」「s u n c o」など書き込みあり)

(頁中央部には肖像画の途中書き込みあり)

#### (54)

今迄言ツテ来タノニ於イテ国家ノ成立ツ、特徴ハホゞ述べ終ツタと思フ、大化当時迄ニ出来タ吾国ノ特チャウハ大化以後ニモ変ラズツバイテキタと思フ。ダカラコノ時代ニ於イテ吾国ノ特チャウハホゞ定ツタト言ヒ得ル。ココニ注意スベキコト吾建国ノ始メニ於イ種族間ノ争レバレド行ハレタルノナルガ、諸外国ノ古代歴史ト比較スル時ハ日本ニ於ケル争ハ短ク早ク民族ノ統一ヲ見、日本氏族トイフ統一ハコレ我が国ノ特色ダ。

日本

支那ヨーロッパハ皆日本ヨリ争ヒ長シ、故ニ□ノ種族ノ争ヒハ大化ノ頃ニ既ニ終リヲツゲ、ソノ頃ノ闘争ハ氏族ノ争ヒデハナク階級闘争ダ、ソレヲ今ノマルクス主義ノ階級デナク、同階級或ヒハ異階級ニ於ケル争ダ。源平ノ争等ソノ例ナリ。コノコトハ現在ニ於イテモ考フ□ベキコトダ。ソノ後奈□良朝時代奴隷ケイザイ時代ニ於イテモ民族的差別ユー和ノ事実ヲ擧ゲ得ル。マコトニ奈良朝□ノサンゼンタル文化ノ光ハコノ奴隷ノ血ト汗トノ結晶デアツタノダガ――。

奴婢帖ナシカラ参考ニシテ見テモソレガ判ル。巨瀬朝臣

奈□麻呂二百三人ノ奴隷ヲ有シコレハ天平十七年

九月ニコレラ解散サレタトイフ事実等、藤原□可是麿 60

人ノドレイヲ獻ズトイフ事実、法隆寺 532人薬師寺

ノ22人ノ奴隷、東大寺ノ202人ノ奴隷ハ著名ナ事実。

(宝亀三年ノシラベニ依ル) 或ヒハ又今少シ古イ所デハ

ソガ馬子ガ物部守屋□□一家ヲ集メテ273人ヲ奴隷トシテ

ソレヲ四天王寺ノ寄附シタトイフ事実モアリ、カカル工合ニ

非常ニ奴隷ガアルガ諸外国ノ如ク種族的差別

觀念ガヨホド少イト思ハル、コノコトハ後ニ考ヘルコトニシヤウ。

(頁上部に「成」とあり)

(頁左側に肖像画あり)



(頁下部に朱書きで「10」「8.5」「D」「8.5」などあり)

## (55)

当時ノ奴隸ノ発生、大化改新ノ全国ノ土地人民ノ私有ヲ禁ジタトキニ品部曲部ハ皆自由民トナツタガ奴ハ遂ニ解放セラレズコレハ奴隸ト成ツタ

ソノ他

1. 他ハ征服闘争ニ依ツテ奴隸発生
2. 犯罪   "       "       " (多ク官ノ奴隸トナリ)

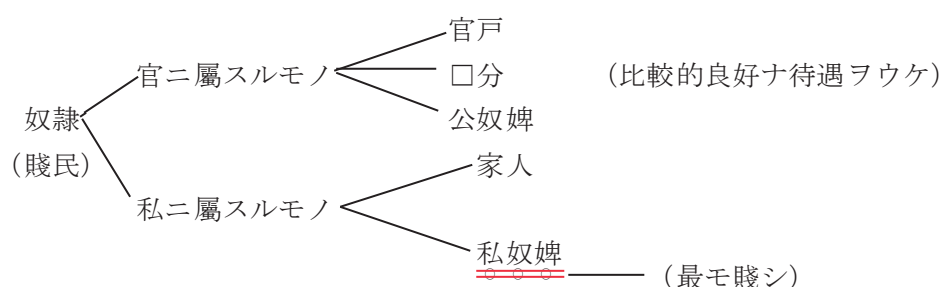
ソノ他

1. 親ガ子ヲ奴隸ニウル (親ガ子ヲソウスルノハ禁ジラレテル所カラ見ルトソレガ判ル)
2. 負債ニ依ル (家資作ルモノハ身ヲ投ジテ折酬セヨトアル)

ダガ日本人ハ残忍性少イカラ諸外国ヨリ奴隸ノ待遇ヨカリシ

ナラム。ダガ一般的ニ見テ日本ノ奴隸ノ待遇ガ良好ダトハ言ハレヌ。

モツトモ奴隸ニモ質類ガアツテ



私奴婢ハ主人ノ財宝ト同ジクウリカヒノ対象トナルモノダ。

故ニ日本ニ於テモ私奴婢ノ生命ハ決シテ尊重シタトハ言ハレヌ、主人

私奴婢ヲ殺セバ杖八十 — 百デ事ス。故ニ主人ト奴隸トノ  
間ニ險悪ナ空氣ガアツタコトモアツタラウ。コシナ実例ガアルニモ

不拘ソノ時代ノ勢力或ハ一般自由民ガ奴隸ヲ所謂奴隸トセヌノモ  
證據立テラレル。放賤、從良等トイフコトバガアルノデモソレガ  
判ルノダ。コノ奴隸ハ身分的ノ階級デアツテ種族的ノ階級デナイ。  
免賤從良、放賤從良

官ニゾクスルモノノウチデ公奴婢年66才ニ達スルト

官戸ニナルソノ官戸ハ76才ニ達スルト良民ニ成ル。但シ

国ニ対スルムホン皇室ニ対スル大逆デ 奴隸トナツタモノ■

80歳ニタツセヌト良民ニナレヌ。

(頁上部に「当 当 当 当」「当」や肖像画、書き込みあり)

(頁のノドの部分に手書き点線の書き込みあり)

## (56)

セムシ、唾、片手足ノナイモノハコレハ66才ノモノト同ジク  
トリアツカフ。メクラ、両手足ノナイモノハ76才ノモノト同ジク  
トリアツカハレル。ダカラ<sup>〃</sup>家人私奴婢ハ絶戸ニ成ツタ  
ナラバソレハ全部自由民ト成ル。外国ニ賣ラレテ独力  
デ逃ゲテ歸ルト良民ニナレル。外国人デ吾国デドレイニ成ツタモノハ  
本国人ガソレヲ買フトソレハ日本ノ良民トナル。奴禁ノ  
持チ主カハ自由ニドレイヲ解放シ得ル。主人ガ奴レイノ

子供ヲ養育スルトソノ<sup>〃</sup>子供ハ良民トナル。

荘園制度ノ時代

奈良朝末期カラ平安朝時代ニ至ツテ大化改新ノ分權制度ガスタリ  
ソレニ代ツテ荘園制度ダ、大化ノ改新ノ時ニ土地ノ私有ヲ  
禁ジテタガ、ソノ当時ノ人口ガワヅカ<sup>〃</sup>ダツタ、故ニ土地ヲ  
ワケテヤツテモ土地多クアマル。ソノウチニ人口ガマスト、  
ソノ区分田以外ノ土地ヲ開クヤウニ成ル。私墾田ヲ作ルノデ  
アル。政府デモ国防増進デコレヲ奨励シタ。ソノウチニ  
公地ノ外ニ私ヨリモ新シク私地ヲ開イテ永久ニ  
ホシガルヤウナモノモ元来ハヤウニ成ツタ、アルトキニハ  
公田ノ方ガ返ヘツテ荒レハテルヤウニ成ツタ。公地モ  
私有地ト同一方デハ又土地ヲ少シデモ多クシヤウト  
シテ努ト遂ニ荘園ガ出来タ。ココニ土地私有  
制度フクカツシ、自ラ貧富ノ差多シ。

或ルモノハ浮浪ノ旅ニ出或ルモノハ荘園ニヤトハレ  
或ルモノハ地方豪族ノ部黨トナルカ、ソナモノヲ

## (57)

イサギヨシトセヌモノハ盜賊トナツタ。コノ平安朝ニ成ツテカラノ  
Ⅱ 會階級ナルモノハ貴族僧侶、地方豪族、良民(浪人)  
ドレイ階級ハホトンド影ヲヒソメタ。コレニ至ル迄ハ貴族ノ  
中ニハ都ニ居ルモノモ地方ニ居ルモノモ同ジデアツタガ  
コノ時代ニ至ツテ地方豪族ハ新タニ対立スル形ヲ  
トツテ来タ。コノ時代ガ歴史ニ於イテ最モⅡ 會カ乱テ  
居タロト想像サレル。シカシカカル秩序ガナイⅡ 會ニモ  
一ツノ注意スベキ特色アルト信ズ、ソレハ前時代  
ニ於ケル<sup>〃</sup>民ガコノ時代ニ於イテ殆ド影ヲヒ  
ソメタ。コノ時代ニ成ツテ来ルト貴族以下ノ上流階  
級ハドレイトシテ使フヨリモ良民ヲ使フ方ガ  
ノウリツガ上ルトイフコトガ判リ、又ドレイガ  
逃ゲテ荘園ニ入ル、荘園主ハコレヲ自由民ロードー

者トシテ使フ。捕亡命ナルモノモ殆ト  
行ハレナクナツテシマヒ、ドレイノ逃亡モ自由ナリキ。  
カカル工合ニ成ツテ我国ノ『會ハ  
種屬的差別モナク、我ガ民族ハコソ然タル  
一民族ヲ形ヅクツタノハ最モ注意スベキダ。  
コノ時代ノ頃ニ武家政治ノ時代ニナルノダガ  
ココニ至ルトモノ種屬的差別少シモナシ。  
コレハ日本ノ一進歩ダラウ。

浪人

浪人ハ土地問題カラ

〔	<u>百姓ニイネノ苗ヲカシツケテ</u>	〕
	<u>ソレヲソノイネヲ何倍カニシテ収メサセル</u>	

## (58)

### 日本民族の概観

民族ハソノ□一個人或ハ現代ノ状態ニヨリテ見ルベキモノニハ  
非ズシテ歴史的『會的ニ考察スベキコト当然ナリ。

一ツノ民族ヲ研究シヤウトスルトソノ国ノ政治ケイザイ文化アラユル  
方面ニ亘ツテノ歴史的の研究ハ根本ニ成ルノダ。併シ自分、個人トシテハ

シ  
ソナ富□豊ナ知識モナイ□洞察力モナイガ、ソレニモ不拘カカル  
民族ノ研究ハ無意義ナコトデナイ。勝手ニ作ラレタ歴史、イツワリ  
ノ歴史ニ私ハ長イ間懷義シテタ。現代ノ歴史ニハ何等  
得ル所ガナカツタ。私ノ考ヘデハ現在ノ日本ハ民族的統一  
ヲ失フテ『會的統一モ亦失フテ居ルト思フ。『會階級ノ  
分裂ハ純粹ナル統一ニ歸スル爲ニ現代ノ日本ハ

ン  
ナヤ□デ居ルノデハナイカ。民族的統一ヲ缺イテル  
トイフ意味ハ日本民族ノ分裂ヲ更ニ言ヘバ [ ]  
サレバトテ朝鮮人等ヲ我々ト同ジ民族ト統一シヤウトスルノデナイ。  
朝鮮人ハ日本人ヨリ古イ傳統ヲ有シテルシ、ソレヲ同化スルハ一ツノ夢想ニスギヌ。  
EnglandとIlrelandトノ關係ハヨクコレニ似テル  
朝鮮ハ如何ナル方法デ日本カラ独立スベキ  
□『會階級間ノ分裂ハ殆ト言フ必要モナイ

於  
程現在ニ□イテハ明ラカニ成ツテ居ル。  
コレラ單一ニスルトイフコトハ現代『會各国  
ニトツテモ大ナル問題デアロウ。  
“国難来”ト言フテル人ノスベテガ新シイモノヲ  
防ガウトイフ意味デハナイト思フ。私一個トシテハ

(頁上部には「弘 弘 弘 弘 弘 弘 弘」とあり)

(頁下部には肖像画あり)

(頁下部には縦書きで「ウマ□」とあり)

(頁下部には「女人藝術」とあり)

(58・59頁ノドの下部に肖像画あり)

## (59)

コノテン換的過渡期ニアタツテ最モ重要ナ時ニアル  
ノダトハ考ヘネバナラヌト思フ。イタヅラニ外国ヲ  
モホウシヤウトスルヤウナコトガアルナラバ日本ノ  
危機ヲ生ムモノダ。血統的ナ階級→経済的階級  
→能力ニヨル階級、—— リンリ的当然へ『會ノ  
当然、各国特有ノウツリ変リアリ、将来ノ  
ウツリカ 現ロシヤノウツリ変リノ方法ハ□和資本  
主義制度ノ時代カラ共産黨独裁時代(国家『會主義)  
ヲ経テ 自由聯合ノ時代、職能組織  
トナルト豫想セラル。現代ノロシヤハソノ  
第一歩ヲフミ出シタ共産黨『独裁の時代ダ。  
コノコトハロシヤノ特有ノモノダト考フ。ロシヤニ於ケル  
民衆ハ自由精神ナシニ新シイ『會ヲ作りソコデ更ニ  
自由ヲオサヘツケラレ今ヤ自由ノ精神全クナシ。  
ソレヨリ一轉シテ平等ナル自由聯合ノ『會ニウツルノニ  
ハ少カラザルギヤツプガル。一人□ソナギヤツプ  
ノアル□ノミナラズ『會的ニミテドウカ?  
『會ノ轉變

自由ノ精神 ———→ 自由ノ人格

(頁上部に縦書きで「ヨツフエ ヨツフエ ヨツフエ」、肖像画など書き込みあり)

(頁下部には朱書きで「D 1 0. 5」など書き込みあり)

(頁下部には朱書きで「3 T 1 4」とあり)

(58・59頁ノドの下部に肖像画あり)

## (60)

第貳学期第參学期

### 1. 日本ノ民族及国民

2学期ニ於イテ述ベタ如ク日本ハ民族トシテノ結合ノ完成ハ大化改新  
デアルソノ後移民族ヲ統轄シ封建時代ニハ国内ニ移民族ノ  
反乱少シモナクナツタ。一方奈良朝時代ニ於イテ盛ナリシ

#### 武家制度

ドレイ制度ハ平安末期カラ封建時代ニ至ツテ  
全滅シ、民族的統一ココニ成ツタ。ソノ後戦国  
時代ナルモノニ成ツテ日本ハ乱レタ。ソノ間モ  
日本民族間ノ融和ガ乱レタノデハナイ。豊臣徳川時代ノ  
始メニ成ツテ日本ノ□九州方面ニ渡来シテ  
来タノダガ、文化的ノ西ヨーロッパ崇拝ハ  
コレノ戦乱ノ基デアル。鎖国政策□ニ至ル。  
日本民族ノ統一ニ□ハ何等ノ危機モナク明治ニ  
入ツタ。日本ノ国民トイフモノト日本ノ民族ハ  
全ク一致シタテ居タ。日本ハ民族国家ノ理想  
的ナルモノダ。カカル強固ナル民族国家ヲ作ツテ居ル。  
ソノ事実ヲ日清日露ノ戦後ニ依ツテ外国  
ニ示スコトガ出来タ。日本民族自身ニ依ツテ  
先進国ト交ツテ民族完成ノ実力ヲ示シタ。  
即チ帝国の進出ナシタノダ。日本国民ノ中ニ  
□国民ト民族トノ分離ガ台湾朝鮮ノ  
占領ニ依ツテ出来タ。朝鮮民族  
台湾民族ガ入ツテ来テ日本国民道德ハ日本民族道德トイフ

#### (61)

狭イモノニ成ツタ。今迄ニオケル皇室ニ対スル態度ハ朝鮮民族ト吾々トノソレトハ異ル、  
従ツテ、ソノ行政モ異ル。

国家的統一ハココニ乱サレルヤウニ成ツタ  
コレニ處スル吾々ノ態度如何

朝鮮人ト内地人トヲ雜居サセテ同化

サセルトカ朝鮮人ニ日本史日本人ヲ教ヘ  
日本人ノ鑄型ニ入レル。深く洞察スレバ  
決シテコノヤウナコトハ考ヘラレヌ。併シ□同種  
同族ノ民族ダカラ同化シ易イ考ヘラレガ  
民族ハ一民族タル所以ノモノハ人種的ノモノ  
デアルヨリ文化的、會的心理的、感情的ノモノ  
ダ。ココニ集團精神或ヒハ民族意識  
ガ含マレテココニ一民族ノ成立ヲ見ルニ至ル。  
ダカラ日本人ト朝鮮人トハ非常ナチガ  
ヒガアル。日本民族トイフモノハ人種的  
種族的差別觀念□ヨリモ心理的  
感情的ノモノダ。日本ハ昔同化的精神ヲ持ツテタ  
カラト言ツテソノママ同じモノヲ持ツテ来ルワケニハ

ユカヌノデアツテ。アル。現代ノ朝鮮支那日本民族  
トノ間ニハ大クノソウイアリ、過去カラノ国ノ成リ立ツ  
地理環□境カラ出来タモノダト思フ。  
現代ノ日本人ハ日本ノ強固ナル政府  
日本ノミ□會人ノ繼續ニ他民族ガ入ル  
ノハ日本

## (62)

腕力ナンカデ支那朝鮮民族ヲ同化サセ  
ヤウトシテモソレ□ダメダ。言語感情  
思想モ多少異ルモノハ多□イ、  
同化シ得ナイ E n g l a n d      アイルランドノ  
例ノ如キ。  
朝鮮□台湾ヲ日本ヨリニ同化サセズ  
彼等ヲシテ自治制ヨリ独立ヘ  
自主的自由聯合ナル形ハ将来国家  
相互ノ關係ニヨキ結果ヲモタラスベシ。

### (2) 日本ノ国民国家

我々ノ理想ハ民族国家テアツテ一面ニ於イテハ  
国民国家ガ理想デモアル。  
国民全般ガ国家ト合致スル。国民ノ全部  
ニ依ツテ国家ガ構成セラレル。近世ヨーロツパ  
□列強ハスベテ国民国家ダト稱セラレテ  
居ル、過去ニ於ケルヨーロツパ列強ハ国家  
内外内外ニソノ威ヲ示シテル。国家ノ内部ニ於イテ  
スベテノ国民ガ      過去ニ於ケルトキハ  
君主ト国家ガ合体シテ国民ト国家ハ  
相分離シテルト考ヘテタ。  
国家ノ  
□有産  
(頁上部には朱書きにて「自由的」「自由聯合」とあり)  
(頁上部には「家國」「國 國」、肖像画あり)  
(頁下部には朱書きにて「D 4」とあり)

## (63)

二、日本ノ国民国家  
吾人ノ理想民族国家又一面国民国家即国民全般ガ国家と  
合致シ国民全部デ国家ガ構成スベキコト。  
過去ヨーロツパ列強ハ外部内部形式上国家ノ体面ヲ  
タモテドテ構成分子ハ果シテ国家ヲ意識ヲ有セシヤ

否ソハ君主僧侶ノ国家ニシテ国民トカケハナレシモノ也。国民独立ハジウリン□セラル。国民ノ自覺生ズルコトナリ、構成分子拡張有聲市民階級ブルジョア国家十九世紀ニ発達日本モソノ一員ト成ル、大統領ニシロ、王ニシロソノ内部構造ハ同じ国民ト国家トハ合致セズ 有産ヨリ無産大衆ニ選舉權□ヒロガレドモ国民ト国家トハ合致出来ズ、資本国家家 権力ヲニギルハ有産市民ニ□他ナラス。

新形ノ国民国家、ロシヤサレドコレトテ国民ト全然合致セルニハアラズ国家ヲ會化シテ行ク方策即日本民族全体ノ国家トスル進化ヲ作ツテ行ク制度法律ヲトラズソノ制律ハ□ブルジョアニ適ス。アル階級ニ国家ハ独占セラレ、一般国民ハ帝国主義的侵出ヲシヒラレ、自国優越  
(頁上部には筆記体で「Shuji」「T. Shuji」「Thushima」「Shiige」など書き込みあり)

#### (64)

ノ感ヲツケ加ヘ愛國心ヲツケクハヘラレ他國を征服スル事ガ名譽デアルカノ如ク又人類愛ナドノ口実ヲ加ヘテ人民ヲ強フルノデアル。シカラザルモノハ非愛國者ト言フ一國民ノ中ニ數種民族ガアツテ國民ト民族合致セズ、又合致シテモ同じ事情ノ下ニアタカモアル部ハソノ民族ヲ構成セザルガ力ノ如ク共同生活文化的同質ヲモタザルモノアリ。

日本ハ民族的ニハ階級的ニモ異質ノ對 合体ガ對立スル実狀也。近代国家ハスベテソウデアリ、我國家モ亦然リ。民族 會ハ欧米ニハ例ヲ見ザル程自然的ニ流一形成セラルルモ國民ハ國家ニ隸屬□スル有様ニシテ國民的ニキソヅケラレズ階級的ニ分立ス。君主國體ノモトハ國民國家ガ形ヅケラレネバナラス理由ハ

十分明デナイ。君民一体ノ民族〓 會ノ  
本質ハ古来ヨリ明セラレシモ

### (65)

君民一体ノ国民国家ノ思想明ナラズ我国ノ  
主君ト国家ヲ合体サセソノ下ニ国民ヲ  
服従サセヌソノ中ニ〓〓 會ヲ  
没入サセテシマフ〓〓形ヲトル。国家  
的流一ハ行ハレテモ 〓 會的流一  
ハ行ハレヌ、民族的ニ結合シテモ  
階級的ニハ結合サレヌ。民衆化サレヌ。  
制律ノ不合理ガ〓フクマレテ居ル  
階級的ニ結合サレ 〓 會的ニ流一  
セラレルナリ、ソノ基礎ノ上ニ立テラレタルナリ。  
理想的民族的国民的国家ガ  
生ズベシ

### (66)

(ノドの下部に横顔肖像画あり)

### (67)

3. 日本 〓 會運動ノ諸傾向ト我ガ民族性

〓コレニハ資本主義ケイザンニ組織反対シタル  
運動 日清戦争以後ハ日本ニ於イテ  
我ガ運動ハ濃厚ニ成ツタ。明治14年以来断續的ニ起ツタガ 〓 會民衆黨  
ノ結 〓 ノ(明治34年5月820日)ソノ時以来  
日本ノ資本主義ニ対スル 〓 會運動ガ起ツタ。

車界黨(車夫組合馬車鉄道ニ對抗ス大井兼太郎等コレヲ  
支配ス。カカラ名前ノアル所ヨリ見レバ当時既  
〓 會運動ノイシキガアツタヤウダ)ソノ他  
印刷工ノ組合ヲ作ラウトシタ、但シコレ等ハ  
皆雇主ノ發起ニカカル。 〓 民ノ結 〓 ニ  
依リ始メテ雇主ニ對抗ステ起ツタ。  
〓 〓 民黨ハ片山潜、木下シヤウ公  
川上清 公德傳次郎、阿部幾雄等ニ  
ヨリ起ツタ、公德ヲノゾクノ他ハ皆  
クリスチヤンダカラソノ説モ隠ケンデ  
アツタ。 実行 28ヶ條ソノ綱領ノ8ヶ條  
一端ヲ述ブベレバ、人類同類 軍備全廢



階級全廃 土地資本公有 交通機関公有  
財産分配平等 一般政權參與 人民教育費用  
政府フタン。 及実行綱領ハコレニ  
対シテオンケンデアル。28ヶ條  
理想ヲ実行スルノガタキヲ述ブ  
(頁右側に朱書きで「D 4. 5」とあり)

## (68)

重大問題ニ関スル

直接

ソノ中デ人民投票、貴院廃止、軍備縮少  
ノ三ツハ問題ニ成ツタガ大体ニシテ  
オンケンダ。以上ノ三問題モ過激デ  
ナイ。軍備縮少ハ露シヤニ対シテ  
ケイカイシテ居タ時ダツタカラ問題ニ成ツタ。  
コノ三ツノ問題ガヒツカカツテ結<sub>〓</sub>ト共ニ  
即日解散ニ成ツタ。シカシー且結<sub>〓</sub>ガ  
出来テ新聞ニ出テカラ常ニケイゾクのニ  
レンゾクシ、現代迄ソノ系統ヲ  
引イテ居ル。日露戦争以前 キリスト教平民主義  
万朝報 黒岩涙香ヲ御大将  
トシテココヲ根城トシテ日清戦争以後  
ヤツテ居タ。日露戦争ノ時<sub>〓</sub> 會主義機関紙ト成リ  
非戦論ヲ阿克迄トナヘタ。宣戦詔勅  
ノ前ニ一変シテ主戦論ニ変ツタ。  
川上一味ハ<sub>〓</sub>退<sub>〓</sub>シテ、退<sub>〓</sub>シタ  
一味ハ純粹ナ<sub>〓</sub> 會運動ニタヅサハリ  
遂ニ34年ノ結<sub>〓</sub>ニ至ツタ。  
即日解散ニ成ツタガ新聞雑誌ニ  
発展シタ。平民新聞ヲ作リコレヲ  
機関紙トシテ発展シタ。日露戦争  
ノ時非戦論ガ起ツタ。

## (69)

平民新聞ハ終始一貫非戦論デアツタ。

ホトンド  
皆 投獄セラレタ。遂ニ戦争ガ終ルト  
解散ヲ命ジラレタ。ソレト共ニ又  
結<sub>〓</sub>ノ運動ヲ起シ、日露戦争ガ  
終ツテ西オン寺内閣ガ出来西オン寺ノ

『運ニ寛大ナルヲ見ニシテ日本』會黨  
ヲ作リソノ第一會回大會ガ開カ<sup>レ</sup>  
国法ノ範圍内ニ於イテ『會主義ヲ主張  
スル。コトヲキメタ。翌年第2回大會ガ  
開カレタ。コノ時普選並ビニ<sup>〇</sup>左ヨク  
右ヨクノ分裂ヲ来スシルシヲアキラカニ  
示シタ。公德秋水ハ革命的直接行動論者  
ニ成ツテ居タ。彼ト田添鉄二<sup>ト</sup>ノ

間ニ激論アリ 堺利彦ノ折衷案  
ガトラレタ。カノ翌日（後ノ）平民新聞ハ  
コノ記事ヲクワシク書イタ爲ニ堺氏ノ中間依  
ハ左<sup>〇</sup>ヨクノ存在ヲミトメラレソノ翌日

解散サレタ。同ジ年ニ大阪平民新聞 『會新聞

公德派<sup>〇</sup>  
ガアラハレテソノ<sup>〇</sup>兩派ノ<sup>〇</sup>ワカレヲ  
明ラカニシタ。  
右ヨリ左ヨリ  
山川均オーエン 田添鉄二、オーエン  
命 片山潜直接ケイエ  
革<sup>〇</sup>的 議會政策

## (70)

大正昭和迄ニコレガ續イテ来タ。

普選ヲヘテ 『民 勞農  
ガ右ヨク左ヨクガ出来タ。必ズ中間派ガ  
存在スルガ日本大衆黨ノ中ニモソレガアル。

コレヲ我民族トノ關係

日本民族性、我ガ民族性ハソノ性質ハ原始的、<sup>ラクテンテキ</sup>楽天的感情的  
モホー性長ジ独創性劣ル。日本ノ歴史文化史ヲ

シラベルトソンナことガワカル。萬葉集、佛教ノ時代

カラソウデアリ、今日迄ツバイテル。佛教（一面ニハ

クライ感ジノスル）ニモソレガエイ響シナカツタ。<sup>地理的クワンキヤウ</sup>地勢、氣候風土

食物ユタカ 島国デ移民ナシ、民族ソノモノトシテ順チャウナ

ケイカヲシテ来タ。他ノイカナル民族ヨリモ順チャウダ。

今後ノ日本ニ於イテモ大シタ變化セヌト考ヘラル。

次ニモホー性、独創性ノカイタコトダガ、  
コレモ或ル程度迄ワカルコトダ。コレハドンナ  
根據カラダトスルト地理的クワンキヤウ  
カラダ。異民族ノ交通交際ナシ故ニ

他国トレベルガチガウガ爲ニタヘ  
キワメテ不便ナレバ <sup>モ</sup> <sup>ホ</sup> <sup>ー</sup> <sup>ス</sup> <sup>ル</sup>  
モホーシタ。ソノ高イ方ノレベルヲヒハンスル  
コトハ仲々出来ヌ。イワンヤ独創ヲヤ。  
(他国トハ支那等ヲイフ) ソノモホー於テ  
日本民族ガ、根本的ニ独創性ガナイトハ  
(頁の左側に肖像画あり)

### (71)

言ハレス。支那トイノ交通ガ絶エタ時ニモ王朝文学ハ  
ガ起リ鎖国政策ノ徳川文化等モ特色アリ。  
輸入スベキモノハ輸入スベキシタ今日ハ  
ソノ独創性ヲ發揮シ始メテルノデハ  
アルマイカ。

我ガ国ノ明治年間ヨリノ <sup>〓</sup> 會運動ハ今日迄ノ <sup>□</sup> ハ殆ド外国  
運動ノモホーニスギナカツタ。ソレモ亦ヤムヲ得ナイ、  
当然ナコトト言ハネバナルマイ。自由主義 <sup>→</sup> <sup>3 4</sup> <sup>〓</sup> 會民衆黨  
→ <sup>アナキチツク</sup> 公德一派 <sup>□</sup> (コレ皆外国ノモホーダ)  
<sup>サンディカリズム</sup>

→ (ロシヤ革命成功) マルク <sup>□</sup> <sup>ス</sup> <sup>シ</sup> <sup>ズ</sup> <sup>ム</sup>、コムニズム  
盛ン。日本ノ国情ニ適シタモノトハ推定出来ヌ。  
タマタマ日本民族性国体ヲ重ンジタ温情主義、  
ガオコルノデ

モ <sup>〓</sup> <sup>キ</sup> <sup>デ</sup> アル。ソレラハ <sup>〓</sup> 會主義ヲ理解セズ  
現状 <sup>□</sup> 維持ヲ守ツテシモノダ。又封建時代ノ <sup>〓</sup> 會ノ  
習慣ヲ国粹ト思ヒ、国粹保存ヲ叫ブ  
モノデモアル。ソノ国ノ特色ヲ持ツタ <sup>〓</sup> 會運動ヲガ各国  
ハ持ツテルガ、日本ノミガ持ツテ居ヌ。

故ニ日本ノ民族性ニ會ツタ運動コソ  
イイノデアル。ヨーロツパノ先例ヲモ  
見来、我ガ民族性ハ地理的  
クワンキヨウ 我ガ民族性ノーツノ  
基礎ト成ツテルモノデアル。  
我ガ国家 <sup>〓</sup> 會ノ重大ナルモノハ

(頁上部に朱書きで「□5」とあり)  
(頁下部には横顔の肖像画あり)

### (72)

天皇ヲ中心トシテ居ルコトダ。 国体ト政權ト  
ヲ最善トシテ區別シネバナラス。コレヲ區別スルニハ今後ノ  
日本ノ <sup>〓</sup> 會運動ハム産階級ノ自覺ニ基礎ヲ

於イタコトハ明ラカナコトデアル。

今後ハシカモ現在ノ支配階級ガ

□ドンナニ変化シテモ国体ニイササカニ

変化サセズニシテ置クコトハ我等ノ任務、

政權君民一体トシテノ政權トイフ

モノダ。

特權階級ガ專權ニシテソノ責任ヲ

天皇ニ歸スルコトハ国体ト政權トヲ

明白ニシテシテオクコトハノ必要ヲ示スモノデ  
アル。

### ( 7 3 頁から 1 2 0 頁まで白紙)

#### ( 1 2 1 )

( 頁上部に肖像画あり )

#### ( 1 2 2 )

( 頁中央部に肖像画あり )

( 頁左側には筆記体で「R e s t r a n t、R e s t r a n t、R e s t、  
R e s t r a n t、R e s t r a n t」とあり )

( 頁右側には筆記体で「S. T s u s h i m a、e s s e n t r i e、e s s e n t r i  
e、S. T s u s h i m a、S. T s u s h i m a、S. T s u s h i m a、  
S. T s u s h i m a、S. T s u s h i m a、S. T s u s h i m a、S. T s u s h  
i m a、S. T s u s h i m a」とあり )

#### ( 1 2 3 )

( 頁中央部に横顔肖像画あり )

( 頁上部には筆記体で「S. T s u s h i m a、S. T、S. T s u s h i m a、  
S. T s u s h i m a、S. T s u s h i m a、」とあり )

( 頁中央には縦書きで「細胞文藝、細胞文藝、細胞文藝」とあり )

( 頁中央には「1 4 5、1 4 K」などの書き込みあり )

( 頁下部には筆記体で「R e s t r a n t」とあり )

#### ( 1 2 4 )

自由民トセラレタこと

土地制度ニ於イテ

( 頁全体に肖像画などたくさんあり )

**(125)**

(頁上部には筆記体で「conrad、con、conrad、conrad、conrad」とあり)

(頁右側には縦書きで「津島、津島修治、津島修治、津島修治、津島修治、津島修治、津島修治」「金木町」「~~金木修治~~」「津島」「おすましねえ」など書き込みあり)

**(126)**

(頁上部には筆記体で「The Hirosaki High school」とあり)

(頁上部には筆記体で「S. Tsushima」とあり)

(頁下部には筆記体で「Tsushima」「Temple、Temple、Temple、Temple、Temple、Temple、Temple、Temple、Temple」とあり)

(頁全体には肖像画あり)

**(127)**

(頁上部に筆記体で「miyusito」とあり)

(頁全体に肖像画あり)

**(128)**

(頁左側には縦書きで「津島修治、津島修治」とあり)

(頁中央には縦書きで「辻、辻島衆二」とあり)

(頁右側には縦書きで「太田、大□」とあり)

(頁下部には縦書きで「津島修治、津島修治」とあり)

(頁全体には肖像画あり)

**(裏表紙の裏)**

(頁上部・左側・下部には筆記体で「my father」などの書き込みあり)

(頁上部から中央部に肖像画あり)

**(裏表紙)**

(裏表紙全体には筆記体で「Shuge」や「The Hirosaki High School」「My father」「S. Tsushima」、「□、2、1」などの書き込みあり)

(裏表紙の左側には縦書きで「辻島衆二、辻島衆二」とあり)

(裏表紙の右側には縦書きで「~~主由目~~」「車」とあり)

(裏表紙の左上と右側には肖像画あり)

**(脱漏1)**

彼等ヲ压迫セララルコトハ少クカツタヤウダ。

後ニ出来タ人神代記史ニ皇室トコレラ

豪族トヲ同一祖先ヨリ出デタルモノトシテ  
皇室ヲ小氏族ノ 宗家トシ小氏族  
ハ 血統ヲ同ジウスル一大家族デ  
アツテ其ノ中心ヲナスモノガ皇室デ  
アルトセラレテ皇室ノ威嚴ヲ力強ク  
示スヨリハソノ親愛ノ情ヲ主トシテ説カレテ  
居ルノモコレノ実情ニ依ツタモノデ  
アルト思ハル。コレハ天ヲ以テ帝權ヲ  
s i n t 表象トナシ地ヲ以テ  
民□衆ニギシ天子ヲ以テ高イ所  
カラ民衆ヲ見下スモノトスル支那ノ  
思想トハ根本的ニ異ル所デアル。  
神代史ソノモノハ作り物語デアツテ  
モソノ皇室ノ由来ヲ示サントスル思想  
ニ 於イテ皇室ト国民トノ關係ヲ  
政征服者ト被征服者トノ關係  
（頁上部に書き込みあり）

#### （脱漏1の裏）

ト見ズ宗家ト分家トノ關係ト見タル所  
タシカニ吾国家成立ノ特チャウヲ語ル  
モノダト思ハレルノデアル。

①氏族制度ヲ□通ジテ見タル吾国家  
及ビ国民性ノ特<sup>トク</sup>徴<sup>チャウ</sup>  
吾国上古ノ□會組織ハ所謂民族□  
制度デアツテ政治上ノ關係ニ於イテモ  
亦經濟上ノ關係ニ於イテモソノ  
氏族制度ガソノ根底ヲナシタ  
モノ也。サテ氏ハ共同ノ祖先ヲ有シ  
又ハ有スルト信ズル幾多ノ  
戸ヨリ成ルモノデアル。戸ハ直系  
ノ血族ノソナラズ傍系ノ血統  
ヲモ含ムモノデアツテ親子兄弟  
姉妹トイフゴトキ一<sup>メ</sup>家族ヨリモ  
更ニ<sup>メ</sup>廣ク<sup>メ</sup>伯父<sup>メ</sup>伯□<sup>メ</sup>母<sup>メ</sup>甥□<sup>メ</sup>イトコ  
ヲモ包含スル大家族也。

（16行目の「更ニ廣ク伯父伯□母甥□イトコ」の「□」は篇が「生」、旁が「女」である）

（頁上部に朱書きで「D 4、5」とあり）

**(脱漏2)**

(頁中央から左側に縦書きで「おすまし、おすまし、おすまし、おすまし、おすまし」「おすま、おすま」など書き込みあり)

(頁下部には筆記体で「S. T s u」「S. T s u s h i m a」とあり)

(頁全体には肖像画あり)

**(脱漏2の裏)**

(頁左上には筆記体で「P a g a u   a n d   C h r i s t i a n」、縦書きで「大化」「大化以後」とあり)

(頁右上には縦書きで「吃□□、家」など書き込みあり)

(頁左下には筆記体で「m y   f a t h e r」「c o n r a d」「T h e   H i r o s a k i   H i g h   S c h o o l」などたくさん書き込みあり)

(頁右下には筆記体で「c o n r a d   f e i t」たくさん書き込みあり)

(頁全体に肖像画あり)